STANDARD

COMMUNICATIONS RECEIVER

VR-150

取扱説明書

安全上のご注意 3

ご使用の前に 5

基本的な操作 9

盗聴器発見機能サーチ 17

鉄道無線受信 18

チャンネルカウンタ 19

トーンスケルチ 20

メモリー機能 22

ワンタッチメモリー 28

スマートサーチ 29

デュアルレシーブ 30

プライオリティワッチ 32

必要に応じて使う機能 33

資料 46

当社製品をお買い上げいただき，誠にありがとうございます．
正しくお使いいただくために，この「取扱説明書」をよくお読みください．
お読みになった後は，大切に保管してください．

目 次

安全上のご注意 3

ご使用の前に 5

付属品＆オプション 5

受信前の準備 6

アンテナを取り付ける 6

ハンドストラップと
ベルトクリップを取り付ける 6

乾電池を入れる 7

外部電源を接続する 7

オプションのNi-Cd電池パック
(FNB-79) を充電する 8

基本的な操作 9

各部の名前と働き 9

ディスプレイの説明 9

信号を受信する 10

受信バンドをあわせる 10

周波数をあわせる 10

受信するモード(電波型式)をあわせる 10

周波数サーチ 11

受信できる全ての周波数をサーチする 11

周波数範囲を指定してサーチする 12

サーチしたくない周波数をスキップする 13

バーアンテナ/イヤホンアンテナと
外部アンテナの切り替え 14

リセットのしかた 14

世界の放送を受信する 15

簡単操作の受信機として使う
（プリセットモード） 16

各地方の主要放送局を受信する 16

盗聴器発見機能サーチ 17

鉄道無線受信 18

チャンネルカウンタ 19

トーンスケルチ 20

メモリー機能 22

メモリー操作 22

メモリーの構成 22

メモリーチャンネルに書き込む 22

メモリーチャンネルを呼び出す 23

メモリーの編集 23

メモリーチャンネルに名前をつける 23

メモリーチャンネルの内容を消す 24

メモリーバンク内の
全メモリーチャンネルを消す 24

メモリースキャン 25

全てのメモリーチャンネルを
スキャンする 25

希望のメモリーチャンネルだけを
スキャンする 26

プリファレンシャル
メモリースキャン(PMS) 26

メモリーバンクスキャン 27

ワンタッチメモリー (OTM機能) 28

スマートサーチ 29

デュアルレシーブ 30

プライオリティワッチ 32

必要に応じて使う機能 33

周波数ステップを変更する 33

受信感度を下げる 33

周波数などが変わらないようにする 33

照明ランプが自動的に
点灯しないようにする 34

乾電池を長く持たせる 34

操作音が鳴らないようにする 34

Sメーターの振れをブザー音にする 35

自動的に電源をOFFにする
またはアラームで知らせる 35

スロットマシンゲームで遊ぶ 36

セットモードの項目一覧表 37

セットモードの動作一覧表 38

セットモードの機能別一覧表 44

クローン機能 45

資料 46

故障かな？と思ったら 46

アフターサービスについて 46

定　格 47

メモリーされている世界放送局の
周波数一覧表 48

プリセットメモリー周波数一覧表 50

オートステップ・オートモード関係表 52

キー操作早見表 53

ディスプレイからの索引 53

索　引 54

安全上のご注意（必ずお読みください）

本機を安全に正しくお使いいただくために，必ずお読みください．

お客様または第三者の方が，この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については，法令上賠償責任が認められる場合を除き，当社は一切の責任を負いませんので，あらかじめご了承ください．

マークの種類と意味

⚠ 危険	この表示を無視して，誤った取り扱いをすると，人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています．
⚠ 警告	この表示を無視して，誤った取り扱いをすると，人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています．
⚠ 注意	この表示を無視して，誤った取り扱いをすると，人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています．

図記号の種類と意味

⃠	本機を安全にお使いになるために，行ってはならない禁止事項です． たとえば，Ⓢは分解禁止を示しています．
❗	本機を安全にお使いになるために，必ず守っていただきたい注意事項です．

⚠ 危険

⃠ 航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では使用しないでください．
電子機器や医療機器に影響を与える場合があります．

⃠ 車でご使用になる場合は，運転者は走行中に各種の設定操作は絶対に行わないでください．
走行中に運転者が，本機のディスプレイに気を取られたり，操作に迷ったりすると大変危険です．

⃠ 乾電池から漏れている液などに素手で触れないでください．
皮膚に付着したり，目に入ると化学火傷を起こすおそれがあります．
この場合，直ちに医師の診断を受けてください．

❗ 外部アンテナを使用している時に雷が鳴り出したら，早めにPWRスイッチを切り，アンテナケーブルを本機から外してください．
雷によっては，火災や感電・故障の原因になります．

安全上のご注意（必ずお読みください）

⚠ 警告

本機は“JIS防滴Ⅱ形相当”の防滴構造になっておりますが，なるべく水のかかる場所での使用や，濡れた手で触らないでください．濡れたときはすぐに乾いた布などで拭いてください．
濡れたまま放置すると，性能や寿命を低下させたり，故障や感電などの原因になります．

分解や改造をしないでください．
ケガ・漏液・感電・火災・故障の原因になります．

使用済みの乾電池やNi-Cd電池パックを，火の中に入れないでください．
破裂して火災や火傷の原因になります．

“煙が出ている”，“変な臭いがする”などの異常状態のまま使用すると，火災や故障の原因になります．
すぐにPWRスイッチを切り，乾電池やNi-Cd電池パックを抜いてください（ACアダプターやシガレットプラグ付き外部電源アダプターを使用しているときは，ケーブルをEXT DC端子から外してください）．
煙や変な臭いなどが出なくなったことを確認の上，お買い上げいただきました販売店またはサービスに修理をご依頼ください．

指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください．
火災や感電の原因になります．

⚠ 注意

アンテナを持って，本体を振り回したり投げたりしないでください．
本人や他人に当たり，ケガの原因になります．また，本体の故障や破損の原因にもなります．

人の多い場所では使用しないでください．
アンテナが他人に当たり，ケガの原因になります．

本機を直射日光の当たる場所や熱器具の付近に置かないでください．
変形・変色などの原因になります．

本機を湿気やホコリの多い場所に置かないでください．
火災や故障の原因になります．

本機をぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください．
落ちたり倒れたりして，ケガの原因になることがあります．

シンナーやベンジンなどでケースを拭かないでください．
ケースの汚れは中性洗剤を湿した布で軽く拭いて汚れを落とし，乾いた布で拭き取ってください．

長期間ご使用にならない場合には，安全のため，PWRスイッチを切るとともに，乾電池やNi-Cd電池パックを抜いてください．

磁気カードやビデオテープなどは本機に近づけないでください．
キャッシュカードやビデオテープなどの内容が，消去される場合があります．

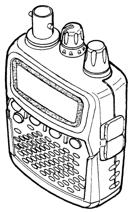
イヤホンやヘッドホンなどを使用するときは，音量を大きくしないでください．
聴力障害の原因になります．

小さなお子さまの手の届かない場所に保管してください．
ケガなどの原因になります．

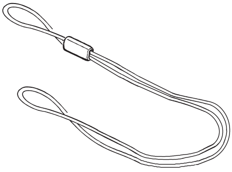
乾電池は，端子にテープなどを貼って絶縁してから破棄してください．

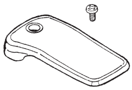
ハンドストラップやベルトクリップの取り付けは確実に行ってください．
間違った取り付けかたは，落下によるケガや本体の破損などの原因になります．

付属品


本体

アンテナ

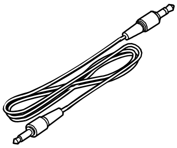

ハンドストラップ

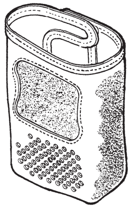

ベルトクリップ

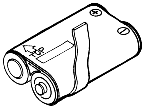
- 取扱説明書（本書）
- 保証書
- ご愛用者カード

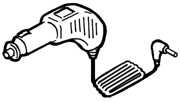
保証書に，お買い上げになりました販売店名と日付が記入されていることを，ご確認ください．

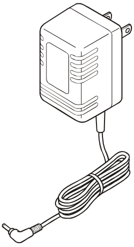
オプション

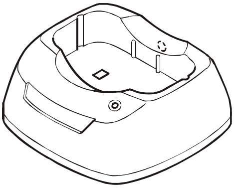

“CT-35”
クローンケーブル

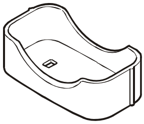

“CSC-76”
ソフトケース


“FNB-79”
Ni-Cd電池パック


“E-DC-15”
シガレットプラグ付き
外部電源アダプター


“PA-30A”
ACアダプター


“NC-82”
チャージャースタンド

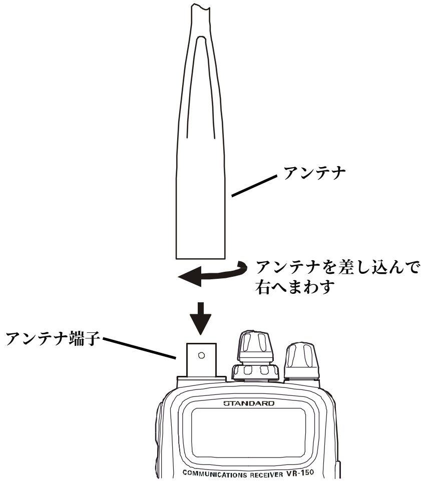

“CA-34”
チャージャースリーブ

受信前の準備(1)

アンテナを取り付ける

アンテナのコネクターに近い太い部分を持って，本体アンテナ端子へ接続します.

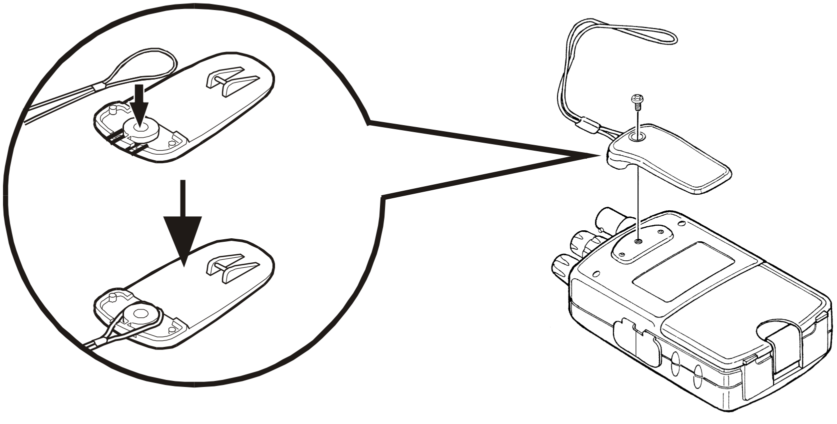
● アンテナの取り付け/取り外し時には，アンテナの細い部分 (上部) を持ってまわさないでください．アンテナの内部で断線する場合があります.
● 本機のアンテナ部分が誤って目にささらないようにしてください.
● アンテナを持って，本機を持ち歩くと故障の原因になります.



ハンドストラップとベルトクリップを取り付ける

図のようにベルトクリップにハンドストラップを通し，本体に取り付けます.

● ベルトクリップの固定には，必ず付属のビスを使用してください.
他のビスを使用すると，しっかり固定できなかったり，本機の内部に損傷を与える場合があります.

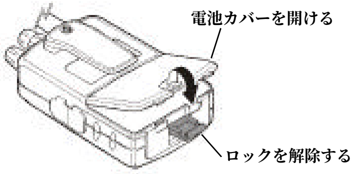


ご使用の前に

オプションをご使用になる場合は，オプションの取扱説明書もあわせてご覧ください．

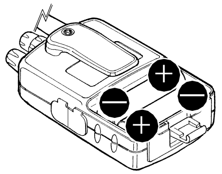
乾電池を入れる

1. ロックを解除し，電池カバーを開けます．



2. 極性を間違えないように注意し，単3形乾電池を入れます．

○ オプションのNi-Cd電池パック (FNB-79) を使用することもできます．



3. 電池カバーを閉め，ロックを「カチッ」と音がするまで押し上げます．

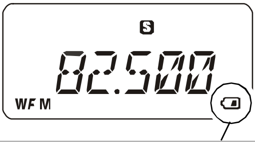
● 長時間使用しない場合は，乾電池を取り外しておいてください．
● ときどき端子や電極を乾いた布や綿棒で拭いてください．端子や電極が汚れていると，接触不良になって正しく使用できないばかりではなく，発熱・破裂などの原因になります．
● 使用済みの乾電池は，火の中などに入れないでください．破裂・やけどなどの原因になります．
● 乾電池を交換するときは，電源を切ってください．
● 古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用すると，乾電池の寿命を短くすることがあります．

使用時間の目安

電池の残量は“▭”の“点灯”または“点滅”で知らせます．
使用できる時間の目安は次のとおりです．

アルカリ乾電池 ➠ 約20時間
マンガン乾電池 ➠ 約8時間
Ni-Cd電池パック(FNB-79) ➠ 約6時間

※ 上記の使用時間は目安ですので，実際に使用できる時間は，使い方や周囲の温度などによって異なります．



点灯： 残りわずかです．
点滅： 電池を交換 (Ni-Cd電池パックは充電) してください．

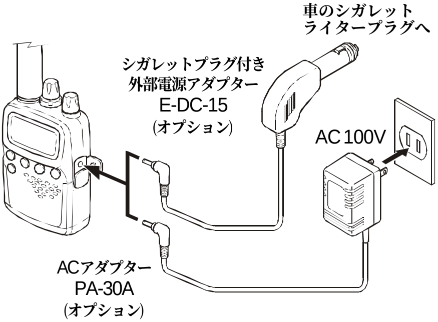
○ 電池の電圧を表示させることができます (セットモード[07. VOLT] ☞ p.39)．

外部電源を接続する

1. 本機の (PWR) スイッチを2秒以上押して電源を“ OFF ”にします．

2. オプションのACアダプター (**PA-30A**) またはシガレットプラグ付き外部電源アダプター (**E-DC-15**) を本機の**EXT DC**端子に接続します．

● 外部電源で長時間 (30時間以上) 使用するときは，オプションのNi-Cd電池パックを外して使用してください．



オプションのNi-Cd電池パック (FNB-79)を充電する

オプションの取扱説明書もあわせてご覧ください.

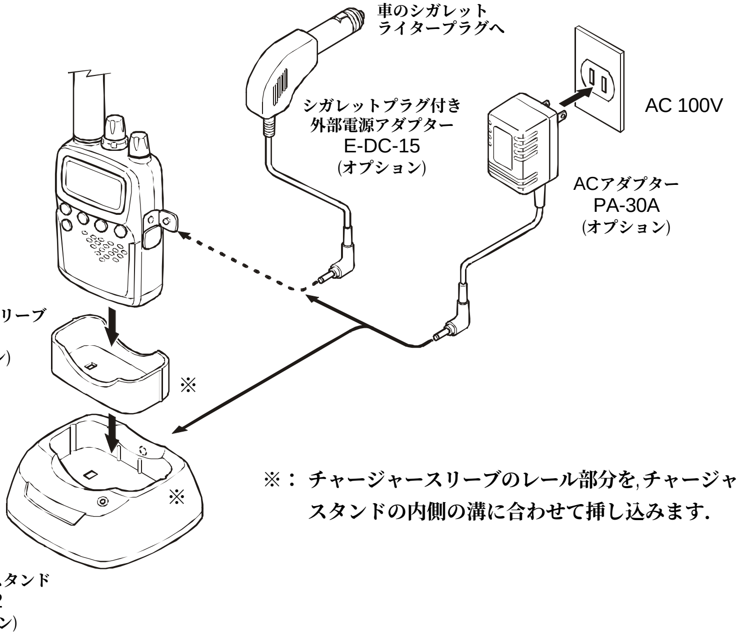
1. 本機の PWR スイッチを2秒以上押して電源を“ OFF ”にします.

2. オプションのACアダプター (PA-30A) を本機のEXT DC端子に接続します.

- ○ オプションのシガレットプラグ付き外部電源アダプター (E-DC-15)を使用すると, 車から充電することもできます (充電時間：約20時間).
- ● 当社指定以外のオプションは, 使用しないでください. 火災や故障の原因になります.
- ● 周囲の温度が+5℃～+35℃の場所で充電を行なってください.

3. 約20時間で充電が完了しますので, ACアダプターを本機から外します.

- ○ オプションのチャージャースタンド (NC-82)とチャージャースリーブ (CA-34) を組み合わせて使用すると, 約15時間で充電することができます.
- ● 受信しながら充電することもできます. なお, このときは充電時間が多少長くなります.
- ● 濡れた手でACアダプターに触れないでください. 感電の原因になります.
- ● 長時間 (30時間以上) 充電したままにしておくと, Ni-Cd電池パックを劣化させることがあります.
- ● ときどき端子や電極を乾いた布や綿棒で拭いてください. 端子や電極が汚れていると, 接触不良になって正しく充電できないばかりではなく, 発熱・破裂などの原因になります.



※： チャージャースリーブのレール部分を, チャージャースタンドの内側の溝に合わせて挿し込みます.

ご使用の前に

各部の名前と働き

SQLツマミ
信号を受信していないときの「ザー」というノイズが消える位置までまわします.

アンテナ端子
付属のアンテナを接続します.

(FUNC) スイッチ
ファンクションキー

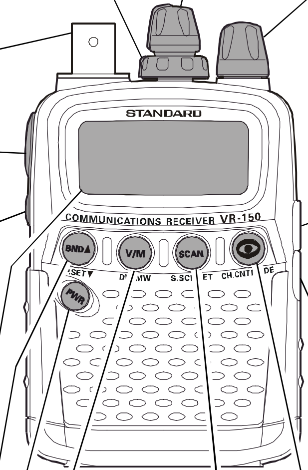
(MONI) スイッチ
一時的にスケルチを "OFF"にします.
また, (FUNC) を押しながら押すと,DIALツマミとキーボードをロックします.

ディスプレイ
受信する周波数や各種の設定状態などが表示されます.

(BND▲) キー
12バンドの受信バンドを切り替えます.
2秒以上押すと "簡単操作の受信機"になります(☞p.16).

(PWR) スイッチ
2秒以上押して電源"ON"
再度2秒以上押して電源"OFF"

VOLツマミ
右にまわすほど, 音が大きくなります.



(SCAN) キー
スキャン(サーチ)をスタートさせます.

(V/M) キー
VFOモードとメモリーモードが切り替わります.

VFOモードとは, DIALツマミで周波数を直接選択できる状態をいいます.

DIALツマミ
周波数を変えたり, メモリーチャンネルを選択します.

EXT DC 端子
外部電源を使用するときに, 当社指定のACアダプター(PA-30A) またはシガレットプラグ付き外部電源アダプター (E-DC-15) を接続します. オプションのNi-Cd電池パック (FNB-79) を使用しているときは, この端子から充電します.

⚠ **当社指定以外の製品を, 接続しないでください.**

SP端子
スピーカーやイヤホンを接続します.

⚠ **イヤホンやヘッドホンを使用するときは, 電源を "ON" にする前に音量を最低にしてください.**

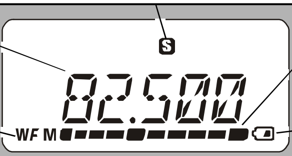
(◉) キー
盗聴器発見機能サーチが動作します.
また, (FUNC) を押しながら押すと, モード(電波型式)を変更することができます.

ディスプレイの説明

バッテリーセーブ機能が動作しているときに点灯します.

この周波数を受信します.

受信している信号の強さを表示します.



現在の受信電波型式を表示します.

電池が消耗すると点灯または点滅します.

信号を受信する

本機は，お買い上げになった時にはオートモード・オートステップが設定されています．
受信したい周波数にあわせるだけで，自動的にその周波数に最適なモード(電波型式)とステップ幅に設定されます．

受信バンドをあわせる

BND▲ を押すたびに，受信バンドが以下のよう(アップ方向)に切り替わります．

→BCバンド→SWバンド→HAM-1バンド→FMバンド→AIRバンド→HAM-2バンド→VHF-TVバンド→情報-1バンド→HAM-3バンド→UHF-TVバンド→情報-2バンド→HAM-4バンド→（BCバンドへ戻る）

○ FUNC を押しながら BND▲ を押すと，反対方向（ダウン方向）に切り替わります．

バンド	初期表示周波数（MHz）	範　囲（MHz）	バンド	初期表示周波数（MHz）	範　囲（MHz）
BC	0.5940	0.1000~1.6200	VHF-TV	175.7500	170.0000~336.0000
SW	6.0550	1.6200~51.0000	情報-1	370.0000	336.0000~430.0000
HAM-1	51.0000	51.0000~76.0000	HAM-3	433.0000	430.0000~470.0000
FM	82.5000	76.0000~108.0000	UHF-TV	649.7500	470.0000~770.0000
AIR	128.8000	108.0000~142.0000	情報-2	903.0125	770.0000~915.0000
HAM-2	145.0000	142.0000~170.0000	HAM-4	1295.0000	961.0000~1300.0000

受信バンドを切り替える方法として，BND▲ 以外にDIALツマミをまわしていく方法もあります．たとえば，BCバンドを選択しているときにDIALツマミをまわしていくと，周波数が1.6200MHzを超えると自動的にSWバンドへ切り替わります．また，SWバンドへ移った状態で BND▲ を押すと，現在の周波数がSWバンドに記憶されて，HAM-1バンドに切り替わります(BCバンドの周波数は変わりません)．次にSWバンドに切り替えたときはその周波数を受信します．

周波数をあわせる

DIALツマミをまわします

右にまわすと周波数は高くなり，左にまわすと低くなります．

○ FUNC を押しながらDIALツマミをまわすと，1MHz単位で変化します（ファーストステップ機能）．

○ DIALツマミで，周波数を自由に設定できる状態を “VFOモード”といいます．

○ DIALツマミをまわしたときの，周波数変化量を変更することができます(☞ p.33)．

● 本機で受信することのできる周波数範囲は，0.1MHz ~ 1300MHzですが，右表の周波数帯は受信することができません．

● **無線通信の内容を窃用したり，他人に漏らすことは，法律により禁止されています．**

253MHz ~ 256MHz	810MHz ~ 835MHz
262MHz ~ 267MHz	843MHz ~ 846MHz
271MHz ~ 276MHz	860MHz ~ 890MHz
380MHz ~ 383MHz	898MHz ~ 901MHz
412MHz ~ 416MHz	915MHz ~ 961MHz

受信するモード(電波型式)をあわせる

受信している信号にあわせて，モード（電波型式）を変更することができます．
なお，工場出荷時は，自動的に受信バンドに適したモードに切り替わる“AUTO（オートモード)”に設定されています．

FUNC を押しながら 👁 を押すたびに，モード(電波型式)が以下のように切り替わります．

→AUTO→FM→WFM→AM→（AUTOへ戻る）

○ “AUTO”以外のモードに設定すると，周波数を変更してもモード（電波型式）は変わらず，設定した受信モードのままになります．

○ 他のモードから“AUTO”に設定すると，周波数表示部分に“AUTO”と一瞬表示されます．

○ オートモード時の，受信周波数とモード(電波型式)の関係は，オートステップ・オートモード関係表をご覧ください（☞ p.52）．

基本的な操作

受信できる全ての周波数をサーチする

0.1~1300 MHzの範囲にある“信号がある周波数”を自動的に探す（サーチする）ことができます.

1. **VFOモードにします**（V/Mを押して切り替えます）.

2. **ノイズが聞こえなくなる位置に，SQLツマミをあわせます.**

3. **SCANを押します.**

表示している周波数より上方向（周波数が高くなる方向）にサーチを開始します（0.1~1300 MHzの範囲をサーチします）.
信号を受信するとサーチは一旦停止し，5秒後にサーチを再開します.

- ○ サーチがバンドエッジ（1300MHz）に達したときには，反対側のバンドエッジ（0.1MHz）に移り，サーチが繰り返されます.
- ○ 再度SCANを押すと，信号を受信して停止したときのサーチの再開する条件を変えることができます.
- ○ サーチ中にDIALツマミを1クリックまわすと周波数表示の「 . 」が点滅し，サーチが一旦停止します.
- ○ サーチが停止しているときにDIALツマミを右へ1クリックまわすと上方向（周波数が高くなる方向）へ，左へ1クリックまわすと下方向（周波数が低くなる方向）へサーチを再開します.
- ○ サーチする方向を変更した場合，次にサーチを開始するときには，この“変更した方向”にサーチを開始します.

4. **V/Mを押すとサーチは中止します.**

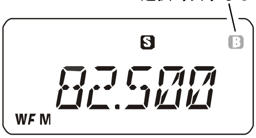
サーチまたはスキャンの再開する条件

信号を受信してサーチまたはスキャンが停止したときの，“サーチまたはスキャンの再開する条件”を，以下の3種類から選択することができます.

スキャン中にSCANを押すたびに，再開する条件を変えることができます.

タイムサーチ/タイムスキャン
(表示なし)

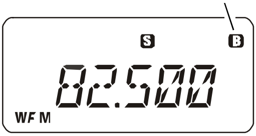
選択時表示なし



サーチまたはスキャンが一旦停止したあとに，信号がなくなると2秒後に，また信号があるときは 5 秒後にサーチまたはスキャンを再開します (工場出荷時) .
なお，この “停止している時間” はセットモード[05: PAUSE]で変更することができます.

ビジーサーチ/ビジースキャン
(“B”点灯)

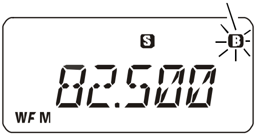
選択時点灯



信号がなくなるまで受信し，信号がなくなると約2秒後にサーチまたはスキャンを再開します.

ホールドサーチ/ホールドスキャン
(“B”点滅)

選択時点滅



サーチまたはスキャンを再開する場合は，DIALツマミを1クリックまわします.

基本的な操作

周波数サーチ(2)

周波数範囲を指定してサーチする（セットモード11: SEARCH）

希望する周波数範囲をサーチすることができます.

☆ あらかじめセットモード[11: SEARCH]を“LIMIT”に設定しておきます（☞ p.39）.

■ 希望する周波数範囲をサーチする

1. **VFOモードにします（V/M を押して切り替えます）.**

2. **希望する周波数範囲の下限周波数に設定します.**

3. **FUNC を押しながら SCAN を2秒以上押します.**

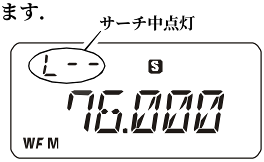
“SCH A W”と表示されて下限周波数が設定され，VFOモードに戻ります.

4. **手順2），手順3）と同じ要領で，上限周波数を設定します.**

“SCH B W”と表示されて上限周波数が設定され，VFOモードに戻ります.

● 上限周波数と下限周波数に同じ周波数を設定すると，サーチすることができません.

◎ 以上で周波数範囲が設定されましたので，以下の操作でサーチを開始します.



5. **ノイズが聞こえなくなる位置に, SQLツマミをあわせます.**

6. **SCAN を押して，サーチを開始します.**

設定した周波数の間をサーチします.

○ サーチの動作や停止したときの再開条件などは，前記ページの「受信できる全ての周波数をサーチする」と同じです.

7. **V/M を押すとサーチは中止します.**

■ あらかじめ設定されている周波数範囲を呼び出しサーチする

あらかじめ下表に示す周波数範囲が割り当てられており，これを“サーチバンドメモリー” といいます．この周波数範囲を呼び出してサーチすることができます.

1. **ノイズが聞こえなくなる位置に，SQLツマミをあわせます.**

2. **SCAN を押してサーチを開始させます.**

3. **呼び出したいサーチバンドメモリー番号を，FUNC を押しながらDIALツマミをまわして選択します.**

選択した周波数範囲で，サーチを開始します.

4. **V/M を押すとサーチは中止します.**

番号	周波数範囲(MHz)	参　考
L 00	76.0000 ~ 90.0000	FMラジオ放送
L 01	90.0000 ~ 108.0000	テレビ音声
L 02	108.0000 ~ 142.0000	航空無線
L 03	144.0000 ~ 146.0000	アマチュア無線
L 04	156.0000 ~ 162.0500	船舶無線
L 05	175.7500 ~ 221.7500	テレビ音声（4~12ch）
L 06	430.0000 ~ 440.0000	アマチュア無線
L 07	0.1000 ~ 1299.9950	-
L - -	「希望する周波数範囲をサーチする」で設定した周波数範囲を呼び出します. 工場出荷時は，「0.1000MHz ~ 1299.9950MHz」が呼び出されます.	

■ 周波数範囲をサーチバンドメモリーに書き込む

サーチバンドメモリーに書き込まれている周波数範囲を，書き替えることができます.

1. **上記の『希望する周波数範囲をサーチする』ときと同じ要領で周波数範囲を設定し，SCAN を押してサーチを開始させます.**

2. **FUNC を押しながら SCAN を2秒以上押します.**

3. **書き込みたいサーチバンドメモリー番号を，FUNC を押しながらDIALツマミをまわして選択します.**

4. **FUNC を押しながら SCAN を2秒以上押します.**

選択したサーチバンドメモリーに書き込まれます.

サーチしたくない周波数をスキップする

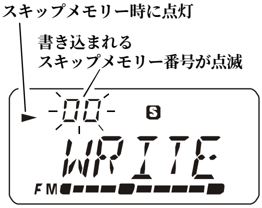
サーチをしているとき，受信したくない周波数でもサーチが止まることがあります．このような周波数はあらかじめ設定しておくことで，サーチ中にその周波数を受信しないことが可能となります．この設定するメモリーを“ スキップメモリー ”といい，100チャンネル（チャンネル番号00~99）あります．

☆ あらかじめセットモード[21. MEMORY]を“SKIP”に設定しておきます（☞ p.41）．

■ サーチしたくない周波数を設定する

1. SCAN を押します．
サーチを開始します．

2. サーチ中，受信したくない周波数で停止したら，FUNC を押しながら V/M を押します．
“WRITE”と表示され，何も書き込まれていない最も小さい番号のスキップメモリーチャンネルが点滅して表示されます．
○ DIALツマミをまわしてスキップメモリーチャンネル番号を指定することもできます．



3. 再度 FUNC を押しながら V/M を押します．
スキップメモリーへの書き込みが完了し，サーチが再開します．
○ あらかじめサーチしたくない周波数をスキップメモリーへ書き込んでおくこともできます．この場合，手順*1*）のかわりにVFOモードで周波数をあわせ，手順*2*），手順*3*）を行います．

4. V/M を押します（VFOモードに戻ります）．

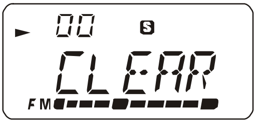
■ スキップメモリーを消す

スキップメモリーは，下記の操作を行うことにより消すことができます．スキップメモリーに設定してあった周波数は，再びサーチするようになります．

1. V/M を押して，スキップメモリーを呼び出します．

2. DIALツマミをまわして消したいスキップメモリーを選択します．

3. FUNC を押しながら V/M を押します．
“CLEAR”が表示されます．
○ V/M を押すと設定を中止し，手順*2*）に戻ります．



4. 再度 FUNC を押しながら V/M を押します．
スキップメモリーの内容が消去されます．
○ 続けて他のスキップメモリーを消すには，手順*2*）から手順*4*）を繰り返します．
● 消したスキップメモリーは復活させることはできません．

5. V/M を押すとVFOモードに戻ります．
○ スキップメモリーを一括で全て消す方法もあります（セットモード[25. SKIPCL]）．

バーアンテナ/イヤホンアンテナと外部アンテナの切り替え

本機にはAM放送受信用のバー(BAR)アンテナと，FM放送受信用のイヤホンアンテナを装備しています．人の多い場所や付属のアンテナが邪魔になるときに，切り替えて使用すれば大変便利です．

1. **VFOモードにします**（V/M を押して切り替えます）．
2. **FUNC を押しながら SCAN を押します**（セットモードになります）．
3. **DIALツマミをまわし，バーアンテナを選択するときにはセットモード[14.AM ANT]，イヤホンアンテナを選択するときにはセットモード[15.FM ANT]にします．**
4. **FUNC を押しながらDIALツマミをまわし，アンテナを選択します．**
   - ○ 14.AM ANTを選択した場合は “BAR” にします．
   - ○ 15.FM ANTを選択した場合は “EARPHO” にします．
5. **FUNC を押しながら SCAN を押します**（VFOモードに戻ります）．
   - ● “バーアンテナ” に切り替えたときは，本機を一番よく受信できる方向に向けてください．
   - ● AMやFM放送以外のバンドを受信するときは，必ず外部アンテナを取り付けてください．
   - ● “イヤホンアンテナ” に切り替えたときは，弱い信号を受信したときにノイズが入ることがあります．

基本的な操作

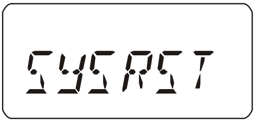
リセットのしかた

設定した内容を，初期値（工場出荷時の状態）に戻すことができます．
なお，リセットには，システムリセットとオールリセットの2通りがあります．

■ システムリセット

通常のメモリーとスキップメモリーの内容を除く，設定値（セットモードの設定やプライオリティメモリーなど）を初期値に戻します．

1. **V/M を押してVFOモードにし，電源を“OFF”にします．**
2. **FUNC と MONI を押しながら電源を“ON”にします**（“SYSRST”と表示します）．
   - ○ V/M を押すとリセットを中止することができます．



3. **FUNC を押しながら V/M を押します．**
   “RESET”と表示したあとにVFOモードに戻り，システムリセットは終了します．

■ オールリセット

メモリーの内容も含む，全ての設定値を初期値に戻します．

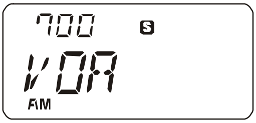
1. **V/M を押してVFOモードにし，電源を“OFF”にします．**
2. **FUNC と MONI と BND▲ を押しながら電源を“ON”にします**（“ALLRST”と表示します）．
   - ○ V/M を押すとリセットを中止することができます．

3. **FUNC を押しながら V/M を押します．**
   “RESET”と順番に表示したあとに，VFOモードに戻りオールリセットは終了します．

オールリセットを行うと，メモリーした内容は全て消去されます．メモリー内容は必ず紙などに控えておくようにしてください．

世界の放送を受信する

世界各地の主な放送局を簡単な操作で受信することができます．
世界の放送局の周波数は，下表に示すように，あらかじめメモリーバンク7（メモリーチャンネル700～799）に登録されています．



1. メモリーモードにします（V/M を押して切り替えます）．
まだ何もメモリーチャンネルにメモリーしていないとき（初期値の状態）はメモリーチャンネル700に登録されているVOAの放送局が表示されます．

2. **DIALツマミをまわして受信したい放送局を選択します．**
登録されている放送局は下表を参照してください（詳細は48ページをご覧ください）．
○ （目）を押すと周波数表示に切り替わり周波数を確認することができます．
もう一度（目）を押すと表示がもとの状態に切り替わります．
● 受信する時間帯や電波の状態が悪いときは，受信できない場合があります．
● 各放送局は下表以外にも受信できる周波数があります．詳しくは市販されている周波数帳などを参考にしてください．

3. **V/M を押すと，メモリーモードにする前の周波数でVFOモードに戻ります．**
○ BND▲ を押すと，メモリーチャンネルの周波数のままでVFOモードに戻ります．

表示 [国]	ﾁｬﾝﾈﾙ	周波数 (MHz)	表示	ﾁｬﾝﾈﾙ	周波数 (MHz)	表示 [国]	ﾁｬﾝﾈﾙ	周波数 (MHz)	表示 [国]	ﾁｬﾝﾈﾙ	周波数 (MHz)
VOA [ｱﾒﾘｶ]	700	6.030	SWISS [ｽｲｽ]	725	3.985	NORWAY [ﾉﾙｳｪｰ]	750	7.485	CHINA [中国]	775	7.190
	701	6.160		726	6.165		751	9.590		776	5.250
	702	9.760		727	9.885		752	9.985		777	9.855
	703	11.930		728	15.220		753	13.800		778	11.685
CANADA [ｶﾅﾀﾞ]	704	5.995	BELGIU [ﾍﾞﾙｷﾞｰ]	729	5.985	SWEDEN [ｽｳｪｰﾃﾞﾝ]	754	6.065	KOREA [韓国]	779	5.975
	705	7.235		730	9.925		755	9.490		780	7.275
	706	9.735		731	11.780		756	13.625		781	9.570
	707	11.705		732	13.740		757	17.505		782	13.670
BBC [ｲｷﾞﾘｽ]	708	6.195	NEDERL [ｵﾗﾝﾀﾞ]	733	5.955	FINLAN [ﾌｨﾝﾗﾝﾄﾞ]	758	6.120	JAPAN [日本]	783	6.155
	709	9.410		734	6.020		759	9.630		784	7.200
	710	12.095		735	9.895		760	11.755		785	9.750
	711	15.310		736	11.655		761	9.795		786	11.850
FRANCE [ﾌﾗﾝｽ]	712	6.045	DENMAR [ﾃﾞﾝﾏｰｸ]	737	9.590	RUSSIA [ﾛｼｱ]	762	5.940	AUSTRA [ｵｰｽﾄﾗﾘｱ]	787	5.995
	713	9.790		738	9.985		763	5.920		788	9.580
	714	11.670		739	13.800		764	7.205		789	9.660
	715	15.525		740	15.735		765	12.030		790	12.080
WELLE [ﾄﾞｲﾂ]	716	3.955	PORTUG [ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ]	741	9.780	ISRAEL [ｲｽﾗｴﾙ]	766	9.435	-	791	-
	717	6.075		742	11.960		767	11.585		792	-
	718	9.545		743	15.555		768	15.615		793	-
	719	9.735		744	21.655		769	17.545		794	-
ITALY [ｲﾀﾘｱ]	720	6.060	SPAIN [ｽﾍﾟｲﾝ]	745	7.270	INDIA [ｲﾝﾄﾞ]	770	6.045	-	795	-
	721	7.175		746	9.520		771	9.595		796	-
	722	9.515		747	11.920		772	11.620		797	-
	723	17.710		748	15.585		773	15.020		798	-
-	724	-	LUXEMB [ﾙｸｾﾝﾌﾞﾙｸﾞ]	749	6.090	-	774	-	-	799	-

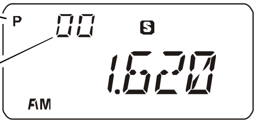
簡単操作の受信機として使う（プリセットモード）

あらかじめBCバンドからUHFの高いバンド（12バンド）をプリセットしてあり，周波数を簡単に呼び出すことができます．また，呼び出した周波数は，DIALツマミで変更することも可能で，自動的にその周波数に最適なモードとステップ幅に設定さます．

1. BND▲ を2秒以上押します．

プリセットモードになります．

プリセットモードを解除するには，再度BND▲を2秒以上押します．



2. BND▲ を押すたびに，下表に示す周波数が呼び出されます．

FUNCを押しながらBND▲を押すと，プリセットメモリーの切り替わり方向が反対になります．

プリセットメモリー	周波数(MHz)/モード(電波型式)	参考	プリセットメモリー	周波数(MHz)/モード(電波型式)	参考
P 00	1.6200 AM	交通情報	P 06	145.0000 FM	アマチュア無線
P 01	6.0550 AM	ラジオ短波(第一)	P 07	370.0000 FM	情報バンド
P 02	51.0000 FM	アマチュア無線	P 08	433.0000 FM	アマチュア無線
P 03	82.5000 WFM	FMラジオ	P 09	903.5125 FM	パーソナル無線
P 04	128.8000 AM	航空無線(気象)	P 10	1295.0000 FM	アマチュア無線
P 05	156.8000 FM	海上無線	P 11	TV 1ch WFM	テレビ音声

3. **DIALツマミをまわすと周波数（TV chの場合はチャンネル）を変更することができます．**

○ FUNCを押しながら◉を押すとモード（電波型式）を変更することができます（TV chは除く）．

○ 周波数やモード（電波型式）を変更したとき，FUNCを押しながらBND▲を2秒以上押し続けることにより，“変更した状態”に書き替えることができます（プリセットメモリーP12は変更することができません）．

○ SCANを押すと，自動的に“信号がある周波数（TV chの場合はチャンネル）を探す（サーチ）”ことができます．また，信号を受信してサーチが停止したときにV/Mを押すとサーチを中止し，その周波数（TV chの場合はチャンネル）を継続して受信することができます．なお，セットモード［11.SEARCH］が“LIMIT”になっているときは，上記のサーチ機能は動作しませんので“LIMIT”から“VFO”に切り替えてください．

○ 周波数やモード（電波型式）を変更し，他のキーを押さずに電源を“OFF”にした場合，次に電源を“ON”にしたときには，“変更した状態”が呼び出されます．

プリセットモード時の注意点

プリセットモード時には，以下の操作を行うことができません．

◎ セットモード“21”以降の操作　◎ メモリースキャン　◎ スマートサーチ
◎ サーチバンドメモリーの書き込み　◎ 盗聴器発見機能サーチ　◎ プライオリティワッチ
◎ メモリー操作　◎ チャンネルカウンタ　◎ デュアルレシーブ

各地方の主要放送局を受信する

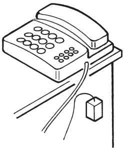
プリセットモードのままBND▲を押してP12に設定しDIALをまわすと，“あらかじめプリセットされている主要放送局（各地方の放送局）”を呼び出すことができます．

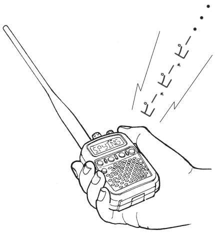
プリセットしてある各地方の放送局は，セットモード10により切り替えることができます（初期値：GROUP0（北海道，東北，信越，北陸地方））．

1. FUNCを押しながらSCANを押し，DIALツマミをまわして［10.GROUP］を選びます（☞p.39）．
2. FUNCを押しながらDIALツマミをまわし，各地方にあったグループを選択します（☞p.50）．
3. FUNCを押しながらSCANを押します．

盗聴器を探し出す

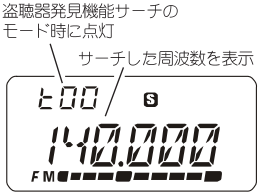
盗聴で使用されている電波を自動的に探し出し（サーチし），もし自宅に盗聴器が設置されている場合には，ブザー音の変化（4段階）でおおよその設置場所の発見を手助けすることができます．





1. **VFOモードにします**（V/Mを押して切り替えます）**．**

2. **(目のキー)を押します．**



盗聴周波数を表示しながらサーチします．

盗聴電波があったとき・・・一番強い信号を専用のメモリー（盗聴器発見機能サーチメモリー: 最大20チャンネル）に書き込み，その周波数を表示してサーチが止まります．

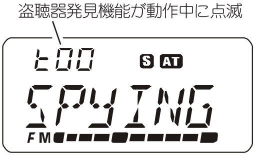
○ サーチが終了後，DIALツマミをまわすと盗聴器発見機能サーチメモリーに書き込まれた周波数を信号の強かった順に呼び出すことができます．

盗聴電波がなかったとき・・・ディスプレイに **"--NO--"** が表示され，VFOモードに戻ります．

○ プライバシーを侵害する盗聴器は無いと思われます．

◎ 盗聴電波を探し出すことができたら，次は盗聴器が設置されている場所を探し出します．

3. **(目のキー)を押します．**



ディスプレイに"SPYING"が表示され，アッテネーター機能（ATT）とSメーターブザーの機能が自動的にONになります．

4. **ブザー（Sメーターブザー）の音が「ピー，ピー，ピー・・・」と高い音で鳴る場所を探し出します．**

○ 「プーッ，プーッ，プーッ・・・」と低い音で鳴る場合は，盗聴器が設置されている場所から離れていることを示し，さらに離れると，「プッ，プッ，プッ・・・」と短い音に変わります．

5. **盗聴器に近づくと，ブザー（Sメーターブザー）のピー音が長く鳴ります．**

さらに盗聴器に本機を近づけると，本機のスピーカーが「ピー」とハウリングをおこし，盗聴器が設置されている場所を発見することができます．

○ 信号が強すぎるときは，(目のキー)押すとSメーター感度を下げることができます．

6. **V/Mを押すと盗聴器発見機能は解除されます**（盗聴周波数の表示に戻ります）**．**

7. **再度V/Mを押すと盗聴器発見機能サーチは中止します**（VFOモードに戻ります）**．**

○ Sメーター感度を下げているときは，通常の感度に戻ります．

● 盗聴器発見機能サーチメモリーに書き込まれた周波数は消去されます．

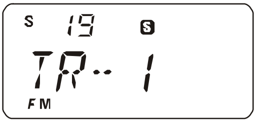
⚠ **この機能は，盗聴器の発見を補助するための機能で，全ての盗聴器を探し出せるわけではありません．**
また本機能を使用して生じたトラブルについては，当社は一切の責任を負いませんので，あらかじめご承知ください．

鉄道無線を受信する

鉄道無線専用のメモリーに，主要な鉄道チャンネルがあらかじめ登録されていますので，DIALをまわして周波数を探すことなく，簡単に鉄道無線を受信することができます．
また，2280Hzの空線信号の音を消して，待ち受け受信をすることができます．

鉄道無線のチャンネルを選ぶ

1. **VFOモードにします**（V/Mを押して切り替えます）．
2. **FUNCを押しながらSCANを押します**（セットモードになります）．
3. **DIALツマミをまわし，セットモード[19.TR FRQ]を選択します．**
4. **FUNCを押しながらDIALツマミをまわし，希望の鉄道チャンネルを選択します．**
   ○ 16チャンネルの鉄道チャンネルから選ぶことができます（下表参照）．



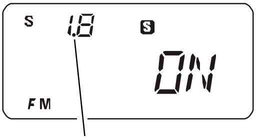
5. **FUNCを押しながらSCANを押します**（VFOモードに戻ります）．
   VFOモードに戻り，現在選択している鉄道チャンネルの周波数を表示します．

表示	周波数 (MHz)	表示	周波数 (MHz)	表示	周波数 (MHz)	表示	周波数 (MHz)
TR-1	352.5375	TR-3	352.5625	TR-5	352.5875	TR-7	352.6125
TR-1 T	336.0375	TR-3 T	336.0625	TR-5 T	336.0875	TR-7 T	336.1125
TR-2	352.5500	TR-4	352.5750	TR-6	352.6000	TR-8	352.6250
TR-2 T	336.0500	TR-4 T	336.0750	TR-6 T	336.1000	TR-8 T	336.1250

空線信号の音を消す（空線スケルチ機能）

通話が行なわれていないときに聞こえる,「ピー」という2280Hzの空線信号音を消すことができます.

1. **VFOモードにします**（V/Mを押して切り替えます）．
2. **FUNCを押しながらSCANを押します**（セットモードになります）．
3. **DIALツマミをまわし，セットモード[18.TRAIN]を選択します．**
4. **FUNCを押しながらDIALツマミをまわし，"ON"を選択します．**
   ディスプレイに「 . 」が点灯します．



指定すると点灯

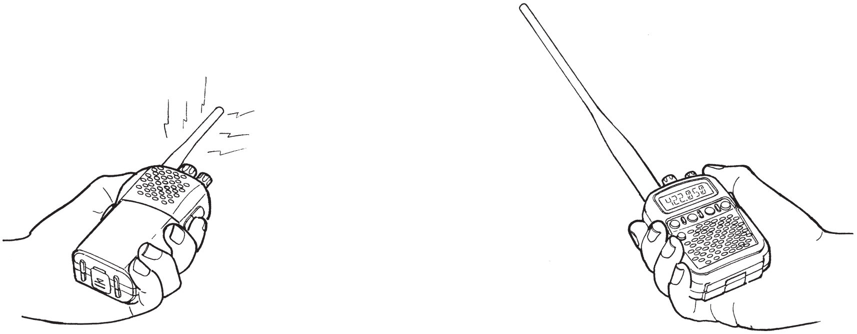
5. **FUNCを押しながらSCANを押します**（VFOモードに戻ります）．
   ○ 2280Hzの空線信号を受信すると，スケルチが動作し空線信号音を消します．
   また，2280Hzの空線信号がなくなるとスケルチが解除されます．
   ○ 空線信号がキャンセルできないときは，SQLツマミを右にまわすほどスケルチの効きが良くなりますので調節してください．
   ○ トーンスケルチ機能が動作中に空線スケルチ機能を " ON " にしても，トーンスケルチ機能が優先されるため空線スケルチ機能は動作しません．
   ● 信号が弱いときやノイズが多いときなどは，動作しないことがあります．
   ● 2280Hz以外の空線信号には対応していません．

周波数を調べる

おおよその周波数しかわからないトランシーバー（たとえば特定小電力のようなチャンネル表示のトランシーバーなど）の周波数を知りたいときに，本機を送信しているトランシーバーに近づけて周波数を測定することができます.

設定した周波数から±25MHzの範囲内を高速でサーチし，最も強い信号を探し出して周波数を表示し，専用のチャンネルカウンタメモリーへ書き込みます.

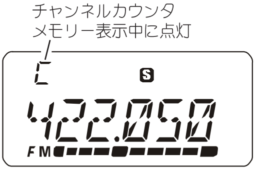
このチャンネルカウンタはあくまでも簡易的なものであり，測定した周波数は概略値です.



1. VFOモードにします（V/Mを押して切り替えます）**.**

2. おおよその周波数にあわせ，送信しているトランシーバーに本機を近づけます.

3. ◉を2秒以上押します.



サーチ中，カウントダウン表示（COUNT4・・・COUNT1）を行い，サーチ終了後周波数を表示します.

- ○ ANT回路は切り離され，至近距離で発射している電波のみ受信します.
- ○ チャンネルカウンタメモリーの周波数は，通常のメモリーチャンネルやスキップメモリーに書き込むことができます.
- ○ 信号を探し出せなかったときはディスプレイに "--NO--" が表示され，VFOモードに戻ります.
- ○ チャンネルカウンタのサーチ幅を変更することができます（下記参照 ）.
- ● トランシーバーの送信出力が大きい場合は，本機が不要な電波で誤動作しないようトランシーバーとの距離を調節してください.

4. V/Mを押すとチャンネルカウンタは中止します（VFOモードに戻ります）**.**

- ● チャンネルカウンタメモリーに書き込まれた周波数は消去されます.

サーチ幅を変更する

1. VFOモードにします（V/Mを押して切り替えます）**.**

2. FUNCを押しながらSCANを押します（セットモードになります）**.**

3. DIALツマミをまわし，セットモード[28.CH CNT]を選択します.

4. FUNCを押しながらDIALツマミをまわし，希望のサーチ幅を選択します.

- ○ サーチ幅は，次の中から選ぶことができます.
  ±5 M / ±10 M / ±25 M / ±50 M / ±100 MHz
- ○ サーチ幅（範囲）を狭くするほど，探し出す時間は短くなります.

5. FUNCを押しながらSCANを押します（VFOモードに戻ります）**.**

トーンスケルチ(1)

選択したトーン周波数が含まれた信号を受信したときのみスケルチが開きます.
50種類のトーン周波数の中から選択することができます.
また，受信している局が使用しているトーン周波数を調べて，表示することもできます（トーンサーチ機能）.

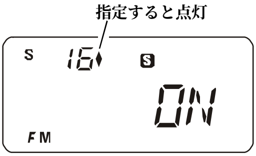
- トーンスケルチ機能が動作するのは電波型式がFMのみです．AMやWFMではトーンスケルチ機能が“ ON ”でもトーンは検出せず, 通常の受信となります.
- 空線スケルチ機能が動作中にトーンスケルチ機能を“ ON ”にすると，トーンスケルチ機能が優先され, 空線スケルチ機能は動作しません.
- 信号が弱いときやノイズが多いとき等の条件により，異なるトーン周波数や隣接したトーン周波数で動作したり，また機能が動作しないことがあります.

トーンスケルチ機能を動作させる

1. **VFO**モードにします（V/Mを押して切り替えます）.

2. FUNCを押しながらSCANを押します（セットモードになります）.

3. **DIAL**ツマミをまわし，セットモード**[16.T SQL]**を選択します.



4. FUNCを押しながら**DIAL**ツマミをまわし，“**ON**”または“**BELL**”を選択します.
ディスプレイに “♦” が表示されます.
○ “BELL” を選択した場合は, トーン周波数が一致するとベルを鳴らして, 受信したことを知らせます.

5. **DIAL**ツマミをまわし，セットモード**[17.TONE]**を選択します.

6. FUNCを押しながら**DIAL**ツマミをまわし，希望のトーン周波数を選択します.
○ トーンスケルチは50波のトーン周波数から選ぶことができます（下表参照）.

選択できるトーン周波数 (Hz)									
67.0	79.7	94.8	110.9	131.8	156.7	171.3	186.2	203.5	229.1
69.3	82.5	97.4	114.8	136.5	159.8	173.8	189.9	206.5	233.6
71.9	85.4	100.0	118.8	141.3	162.2	177.3	192.8	210.7	241.8
74.4	88.5	103.5	123.0	146.2	165.5	179.9	196.6	218.1	250.3
77.0	91.5	107.2	127.3	151.4	167.9	183.5	199.5	225.7	254.1

7. FUNCを押しながらSCANを押します（VFOモードに戻ります）.
トーンスケルチ機能を解除するには，手順2) からの操作を行い，手順4) で“ OFF ”を選択してください.

受信している局が使用しているトーン周波数を調べる(トーンサーチ)

受信している局のトーン周波数がわからないときに使用します.

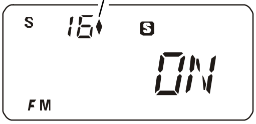
1. **VFOモードにします**（V/Mを押して切り替えます）**.**

2. **FUNCを押しながらSCANを押します**（セットモードになります）**.**

3. **DIALツマミをまわし，セットモード[16.T SQL]を選択します.**

4. **FUNCを押しながらDIALツマミをまわし，“ON”または“BELL”を選択します.**

指定すると点灯



ディスプレイに “♦” が表示されます.

○ “ON” を選択した場合は, トーン周波数が一致するとトーンサーチは終了し，トーン周波数を表示します.

○ “BELL” を選択した場合は, トーン周波数が一致するとトーンサーチは終了し，トーン周波数を表示してベルを鳴らします.

5. **DIALツマミをまわし，セットモード[17.TONE]を選択します.**

6. **SCANを2秒以上押すとトーンサーチが開始します.**

7. **V/Mを押すとトーンサーチは中止します**（VFOモードに戻ります）**.**

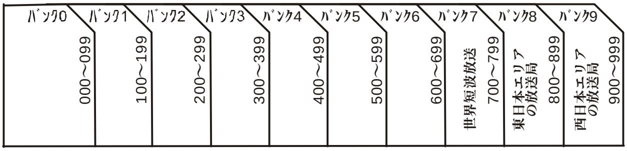
トーンスケルチ

メモリー操作(1)

本機には，1000チャンネル（チャンネル番号000〜999）のメモリーがあり，各チャンネルに個別で受信周波数，受信モード，メモリーの名前，トーンスケルチの動作選択情報と周波数をメモリーすることができます．
メモリーを呼び出している状態を “メモリーモード” といいます．

メモリーの構成

本機では，1000チャンネルのメモリーは100チャンネルずつの10グループに分けられており，このグループを “メモリーバンク” といいます．このメモリーバンクは，メモリーチャンネル番号の100の桁が，そのままメモリーバンク番号になります．
なお，あらかじめメモリーバンク7（メモリーチャンネルの700から799）には世界短波放送の周波数，メモリーバンク8と9（メモリーチャンネル800から999）には日本の中波，FMラジオ，テレビの周波数がメモリーされています（☞ p.48~51）.



メモリーバンクを切り替えるには，メモリーモード時に(FUNC)を押しながらDIALツマミをまわします．

メモリーチャンネルに書き込む

☆ あらかじめセットモード[21. MEMORY]を“VFO”に設定しておきます（☞ p.41）．

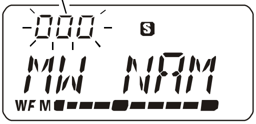
1. **VFO**モードにします（(V/M)を押すとVFOモードになります）．

2. メモリーする周波数と受信モードを設定します．

3. (FUNC)を押しながら(V/M)を押します．

“MW NAM”と表示され，何も書き込まれていない最も小さい番号のメモリーチャンネルが表示し，点滅します．

書き込まれるメモリーチャンネル番号（点滅する）

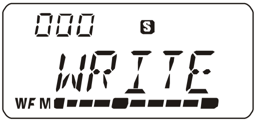


○ DIALツマミをまわしてメモリーチャンネル番号を指定することができます（点灯しているメモリーチャンネル番号はすでにメモリーされていることをあらわします）．

○ (FUNC)を押しながらDIALツマミを右方向にまわすと，各メモリーバンクの一番始めのメモリーチャンネルを呼び出すことができます（例：023→100→200…）．また，このときに(👁)を押すと，このメモリーバンク内の何も書き込まれていない最も小さい番号のメモリーチャンネルを呼び出すことができます．

4. 再度(FUNC)を押しながら(V/M)を押します．

“WRITE”と表示され，メモリーへの書き込みが完了し，VFOモードに戻ります．

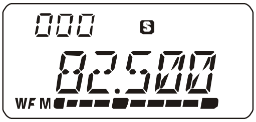


○ すでに周波数が書き込まれているメモリーチャンネルへ再度メモリー書き込みを行うと，新しい周波数に書き替えることができます．なお，名前のついているメモリーチャンネルへ書き込みを行った場合には，その名前は消去されてしまいます．

○ 周波数サーチが停止中に，上記の操作でメモリーチャンネルへ書き込むこともできます．

> ⚠ **メモリーした内容は，誤操作や静電気または電気的雑音を受けたときに消失する場合があります．また，故障や修理の際にも消失する場合がありますので，メモリーした内容は必ず紙などに控えておくようにしてください．**

メモリーチャンネルを呼び出す



1. V/M を押してメモリーモードにします.
メモリーチャンネル番号が表示されます.

2. **DIAL**ツマミをまわして呼び出したいメモリーチャンネル番号を選択します.

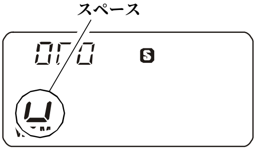
○ FUNC を押しながらDIALツマミをまわすと，各メモリーバンクに書き込まれている"最も小さい番号の"メモリーチャンネルを呼び出すことができます（例：023→101→200…）.

3. V/M を押すと，メモリーモードにする前の周波数で**VFO**モードに戻ります.

○ BND▲ を押すと，メモリーチャンネルの周波数のままでVFOモードに戻ります.

メモリーチャンネルに名前をつける

メモリーチャンネルに放送局名などの名前をつけることができます（最大6文字）.

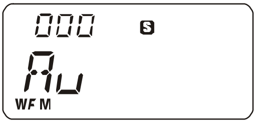


1. 名前をつけたいメモリーチャンネルを呼び出します.

2. FUNC を押しながら SCAN を押します.

3. **DIAL**ツマミをまわして文字を選択します.
DIALツマミをまわすと設定できる文字が以下のように切り替わりますので，希望する文字を選択します.

スペース → A・・・Z → 0・・・9 → * → + → − → / → < → > → _ → スペース → A・・・Z・・・



4. FUNC を押しながら**DIAL**ツマミを右にまわして，点滅表示を次（右側）の桁に移動させます.

○ FUNC を押しながらDIALツマミを左にまわすと前の桁に戻り，修正することができます.

5. 手順*3*）から手順*4*）を繰り返し，文字を入力していきます.

6. FUNC を押しながら V/M を押すと, メモリーチャンネルに名前が書き込まれます.
メモリーモードに戻ります.

○ 本機の電源を入れたときにディスプレイへ HELLO とオープニングメッセージを表示されますが，699チャンネルのメモリーチャンネルに名前をつけると，その名前がオープニングメッセージとして表示されます.
オープニングメッセージを工場出荷時の状態 (HELLO) に戻すには，699チャンネルの名前にスペースを入力して名前を消してください.

○ ◉ を押すと名前表示が周波数表示に切り替わり，周波数を確認することができます.
もう一度 ◉ を押すと名前表示に切り替わります.

○ 下記の操作を行なうことにより，"メモリーチャンネルの書き込み" と "名前の設定" を同時に行うことができます.

（1） メモリーする周波数と受信モードを設定します.
（2） FUNC を押しながら V/M を押して，メモリーの書き込み状態にします.
（3） 上記の手順2）から手順6）の操作を行い，メモリーチャンネルに名前をつけます.
（4） 再度 FUNC を押しながら V/M を押して，メモリーの書き込みと名前の設定を同時に完了します.

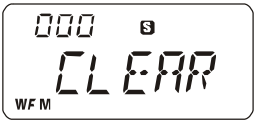
メモリー機能

メモリーチャンネルの内容を消す

1. メモリーモードにします（V/M を押して切り替えます）.

2. DIALツマミをまわして消したいメモリーチャンネルを選択します.

3. FUNC を押しながら V/M を押します.



ディスプレイに“CLEAR”が表示されます.

○ V/M を押すと設定を中止し，手順2）に戻ります.

4. 再度 FUNC を押しながら V/M を押します.

メモリーチャンネルの内容が消去されます.

○ 続けて他のメモリーチャンネルの内容を消すには，手順2）から手順4）を繰り返します.

● 消したメモリーチャンネルの内容は復活させることはできません.

5. V/M を押します（VFOモードに戻ります）.

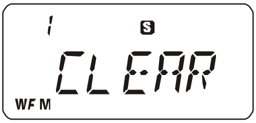
メモリーバンク内の全メモリーチャンネルを消す

1. VFOモードにします（V/M を押して切り替えます）.

2. FUNC を押しながら SCAN を押します（セットモードになります）.

3. DIALツマミをまわし，セットモード[24.BANKCL]を選択します.

4. FUNC を押しながらDIALツマミをまわして，消したいメモリーバンクを選択します.



ディスプレイにメモリバンクの番号と“CLEAR”が表示されます.

○ V/M を押すと設定を中止し，手順3）に戻ります.

5. FUNC を押しながら V/M を押します.

ディスプレイに“WAIT”が表示され，メモリーバンク内のメモリーチャンネルが全て消去されます.

○ 続けて他のメモリーバンクの内容を消すには，手順4）から手順5）を繰り返します.

● 消したメモリーバンクの内容は復活させることはできません.

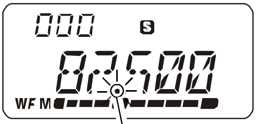
6. FUNC を押しながら SCAN を押します（セットモードに戻ります）.

7. V/M を押します（VFOモードに戻ります）.

メモリーしてある周波数を連続的に受信していき，信号のあるメモリーチャンネルを自動的に探し出すことができます.

全てのメモリーチャンネルをスキャンする

1. **VFOモードにします**（V/M を押して切り替えます）.
2. FUNC を押しながら SCAN を押します（セットモードになります）.
3. **DIALツマミをまわし，セットモード[22.SCAN]を選択します.**
4. FUNC を押しながら**DIALツマミをまわし，“ALL”を選択します.**
5. FUNC を押しながら SCAN を押します（VFOモードに戻ります）.
6. メモリーモードにします（V/M を押して切り替えます）.
7. ノイズが聞こえなくなる位置に，**SQLツマミをあわせます.**



メモリースキャンが停止中に点滅

8. SCAN を押すとスキャンをします.
   メモリーチャンネル番号が大きくなる方向にスキャンを開始します.
   信号を受信するとスキャンは一旦停止し，5秒後にスキャンを再開します.
   ○ 再度 SCAN を押すと，スキャンの再開する条件をビジースキャン/ホールドスキャン/タイムスキャンから選択することができます（☞ p.11）.
   ○ スキャン中にDIALツマミを1クリックまわすと周波数表示の「 . 」が点滅し，スキャンが一旦停止します.
   ○ スキャンが停止しているときにDIALツマミを右方向へ1クリックまわすとメモリーチャンネル番号が大きくなる方向へ，左方向へ1クリックまわすとメモリーチャンネル番号が小さくなる方向へスキャンを再開します.
   ○ スキャンする方向を変更した場合，次にスキャンを開始するときには，この “変更した方向” にスキャンを開始します.
9. V/M を押すとスキャンは中止します（メモリーモードに戻ります）.

希望のメモリーチャンネルだけをスキャンする(1)

下記に示す2種類の方法で，希望するメモリーチャンネルだけをスキャンすることができます.

- 指定したメモリーチャンネルだけをスキャンする “プリファレンシャルメモリースキャン(PMS)”
- 指定したメモリーバンク内のメモリーチャンネルだけをスキャンする “メモリーバンクスキャン”

■ プリファレンシャルメモリースキャン（PMS）

指定したメモリーチャンネルだけをスキャンします.

1. メモリーモードにします（V/M を押して切り替えます）.

2. DIALツマミをまわし，スキャンしたいメモリーチャンネルを選択します.

3. SCAN を2秒以上押します.

選択したメモリーチャンネルが指定され，“PS”が表示されます.

○ 再度 SCAN を2秒以上押すと，指定を解除することができます.

○ 手順2），手順3）を繰り返し，スキャンしたい他のメモリーチャンネルを指定します.

4. ノイズが聞こえなくなる位置に，SQLツマミをあわせます.

5. SCAN を押してメモリースキャンを開始します.

6. SCAN を2秒以上押してPMSを開始します.

“P.S”が表示され，指定したメモリーチャンネルだけをスキャンします.

○ スキャンの動作や停止したときの再開条件などは，前記ページの「全てのメモリーチャンネルをスキャンする」と同じです.

○ 再度 SCAN を2秒以上押すと，“P.S”表示が消灯して，全てのメモリーチャンネルをスキャンするようになります.

6. V/M を押すとスキャンは中止します（メモリーモードに戻ります）.

希望のメモリーチャンネルだけをスキャンする(2)

■メモリーバンクスキャン

指定したメモリーバンク内にあるメモリーチャンネルだけをスキャンします.

1. **VFOモードにします**（V/Mを押して切り替えます）.

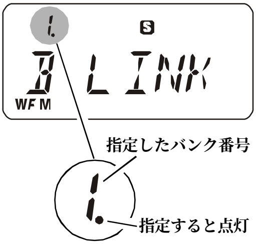
2. **FUNCを押しながらSCANを押します**（セットモードになります）.

3. **DIALツマミをまわし，セットモード[22.SCAN]を選択します.**

4. **FUNCを押しながらDIALツマミをまわし，“BANK”を選択します.**

5. **DIALツマミをまわし，セットモード[23.B LINK]を選択します.**

6. **FUNCを押しながらDIALツマミをまわし，スキャンしたい“バンク番号”を表示させます.**



7. **DIALツマミをまわし，バンク番号の右下に「.」を表示させます.**

DIALツマミをまわすごとに，バンク番号の右下に「.」が点灯・消灯を繰り返します.

○ 手順6），手順7）を繰り返すと，複数のメモリーバンクを指定することができます.

8. **FUNCを押しながらSCANを押します**（セットモードになります）.

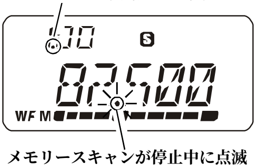
9. **FUNCを押しながらSCANを押します**（VFOモードに戻ります）.

10. **メモリーモードにします**（V/Mを押して切り替えます）.

11. **SCANを押してメモリーバンクスキャンをします.**

「.」が表示され，指定したメモリーバンク内にあるメモリーチャンネルだけをスキャンします.

○ スキャンの動作や停止したときの再開条件などは，前記（☞p.25）の「全てのメモリーチャンネルをスキャンする」と同じです.



12. **V/Mを押すとスキャンは中止します**（メモリーモードに戻ります）.

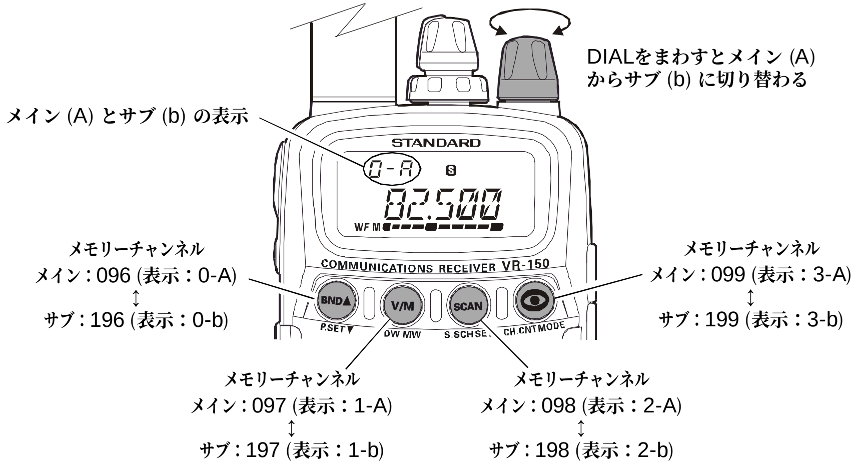
ワンタッチメモリー (OTM機能)

OTM機能を動作させると，あらかじめ指定しておいた8つのメモリー (メインメモリー: 4チャンネル, サブメモリー: 4チャンネル) を，パネル面の BND▲ ， V/M ， SCAN ， 👁 キーとDIALツマミで呼び出すことができますので, 多チャンネルのメモリーの中から必要とする周波数を探し出すという手間が省け，簡単操作の8チャンネル受令機のような使いかたができます.

OTM機能が動作時は, 各キーにそれぞれ1組のメモリー (メインとサブ) が割り振られ, BND▲ ， V/M ， SCAN ， 👁 キーを押すことにより，呼び出すことができます．また，メモリー呼び出し時にDIALツマミをまわすことで, メインメモリーとサブメモリーが交互に切り替わります.

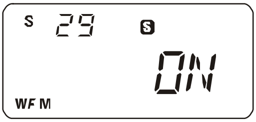
なお，OTM機能をONにする前に，希望の周波数をメモリーチャンネルの096, 097, 098, 099と, 196, 197, 198, 199へメモリーしてください（メモリーに書き込む：☞ p.22）.

メインのメモリーチャンネル（096, 097, 098, 099）に何もメモリーされてない場合は，サブにメモリーされていても，サブのメモリーを呼び出すことはできません.



ワンタッチメモリー機能を動作させる

1. **VFO**モードにします（ V/M を押して切り替えます）.
2. FUNC を押しながら SCAN を押します（セットモードになります）.
3. **DIAL**ツマミをまわし，セットモード[**29.O T M**]を選択します.
4. FUNC を押しながら**DIAL**ツマミをまわし，“**ON**”を選択します.



5. FUNC を押しながら SCAN を押します（ワンタッチメモリーの機能になります）.
   ○ OTM機能を使用しているときはアッテネーター機能のみ使用することができます（☞p.33）.
   OTM機能を解除するには，手順2)からの操作を行い，手順4)で “OFF” を選択してください.
6. FUNC を押しながら SCAN を押します.

スマートサーチ

信号のある周波数を自動的に探し出し，通常のメモリーチャンネルとは異なる専用のメモリーチャンネル（スマートメモリー：21チャンネル）へ書き込みます.

1. **VFOモードにします**（V/Mを押して切り替えます）**.**

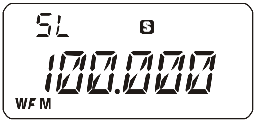
2. **下限周波数にあわせます.**

3. **SCANを2秒以上押します.**

ディスプレイに“S-”が表示されます.

4. **DIALツマミをまわし，“SL”を選択してFUNCを押しながらSCANを2秒以上押して設定します.**

“LOW W”と表示されて下限周波数が設定されます.



5. **手順2）から手順4）と同じ要領で，スマートサーチを始める周波数(スタート周波数)を“SS”に，上限周波数を“SU”に設定します.**

○ スタート周波数が設定されると“ST W”と表示され，上限周波数が設定されると“UP W”と表示されてます.

● 以下の設定ではスマートサーチは動作しません.

・下限周波数が上限周波数より高い周波数の場合

・スタート周波数が上限周波数と下限周波数の間に設定されていない場合

・スタート周波数と上限周波数，またはスタート周波数と下限周波数の間隔が100kHz以下の場合

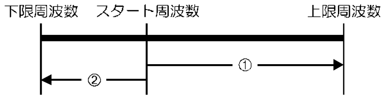
6. **設定後，SCANを2秒以上押します.**

○ DIALツマミをまわすと，設定した周波数を確認することができます.

7. **再度SCANを2秒以上押します.**

設定した周波数範囲内を1回サーチし，信号のある周波数をスマートメモリーへ書き込んでいきます.

○ 信号を探し出せなかったときはディスプレイに“--NO--”が表示され，VFOモードに戻ります.



① スタート周波数から上限周波数方向へサーチしたあと，
② スタート周波数から下限周波数方向へサーチします.

スマートメモリーのチャンネル数は，スタートさせた周波数を中心に，上限周波数側（①）と下限周波数側（②）にそれぞれ10チャンネルと，スタートさせた周波数1チャンネルの合計21チャンネルです.

8. **サーチ終了後，DIALツマミをまわすとスマートメモリーに書き込まれた周波数を呼び出すことができます.**

○ 呼び出したスマートメモリーの周波数は，通常のメモリーチャンネルやスキップメモリーへ書き込むことができます.

○ 全てのスマートメモリーに周波数が書き込まれるまで，設定した周波数範囲内を何回もサーチさせることができます（セットモード［27. S SCH］）.

9. **V/Mを押すと，スマートサーチは中止します**（VFOモードに戻ります）**.**

○ 一旦VFOモードに戻っても，SCANを2秒以上押してから，FUNCを押しながらDIALツマミをまわすと，スマートメモリーに書き込まれた周波数を呼び出すことができます.

● スマートメモリーに書き込まれた周波数は，電源を“OFF”にしても消去されませんが，以下の操作を行なうと消去されます.

・再度スマートサーチを開始したとき

・乾電池やNi-Cd電池パックを取り外したとき

・電源を“ON”にした状態で，EXT DC端子に外部電源のプラグを抜き差ししたとき

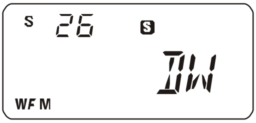
デュアルレシーブ(1)

■ 希望する2つの周波数を交互に受信する

受信したい2つの周波数を専用のメモリー（デュアルレシーブメモリー）に書き込むことにより，2つの周波数を交互に受信することができます.

1. **VFOモードにします**（V/M を押して切り替えます）.

2. FUNC **を押しながら** SCAN **を押します**（セットモードになります）.



3. **DIALツマミをまわし，セットモード[26.DW/PW]を選択します.**

4. FUNC **を押しながらDIALツマミをまわし，"DW"を選択します.**

5. FUNC **を押しながら** SCAN **を押します**（VFOモードに戻ります）.

6. **VFOモードまたはメモリーモードで，受信したい周波数にあわせます.**

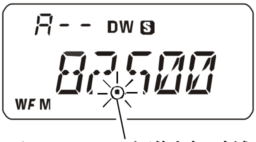
7. FUNC **を押しながら** V/M **を2秒以上押します.**
"DWA W"と表示されてデュアルレシーブする周波数が設定され，もとの状態（VFOモードまたはメモリーモード）に戻ります.

8. **手順*6*），手順*7*）と同じ要領で，受信したいもう1つの周波数を設定します.**
"DWB W"と表示されてデュアルレシーブするもう1つの周波数が設定されます.

9. **VFOモードにします**（V/M を押して切り替えます）.

◎ 以上で2つの周波数が設定されましたので，以下の操作でデュアルレシーブを開始します.

10. V/M **を2秒以上押し，デュアルレシーブを開始します.**
"DW"と表示され，2つの周波数を0.5秒ごとに交互に受信します.
信号を受信するとデュアルレシーブは一旦停止し，5秒後にデュアルレシーブを再開します.
- ○ V/M を2秒以上押すと，デュアルレシーブの再開する条件が変わります（☞ p.11）.
- ○ DIALツマミをまわすとデュアルレシーブが停止して，もう1つの周波数を表示し，その周波数を継続して受信することができます．このとき，DIALツマミをまわすと設定した2つの周波数を交互に呼び出すことができます．また，BND▲ を押すと，その周波数のままVFOモードに戻ります.
- ○ DIALツマミをまわして停止させたあとに再度デュアルレシーブをする場合は，一旦VFOモードに戻ってから再度 V/M を2秒以上押します.



デュアルレシーブが停止中に点滅

11. V/M **を押すとデュアルレシーブは中止します**（VFOモードに戻ります）.

デュアルレシーブ

■ あらかじめ設定されている周波数を呼び出しデュアルレシーブする

あらかじめ下表に示す周波数がデュアルレシーブ専用のメモリーとして割り当てられています．これをデュアルレシーブメモリーといい，この2つの周波数を呼び出してデュアルレシーブを行うことができます．

1. デュアルレシーブを動作させます（V/Mを2秒以上押す）．
2. FUNCを押しながらDIALツマミをまわして，呼び出したいデュアルレシーブメモリー番号を選択します．
   選択した周波数が呼び出され，デュアルレシーブを開始します．
   ○ デュアルレシーブの動作や信号を受信して停止したときの再開条件などは，前記ページの「希望する2つの周波数を交互に受信する」ときと同じです．

デュアルレシーブメモリー番号	周波数（MHz）	デュアルレシーブメモリー番号	周波数（MHz）
A00 b00	10.0000 AM 100.0000 WFM	A05 b05	128.8000 AM 156.8000 FM
A01 b01	200.0000 WFM 300.0000 AM	A06 b06	145.0000 FM 433.0000 FM
A02 b02	400.0000 FM 500.0000 WFM	A07 b07	433.0000 FM 1295.0000 FM
A03 b03	600.0000 WFM 700.0000 WFM	A- - b- -	デュアルレシーブメモリーが書き込まれます．(初期値はメモリー番号00 と同じ周波数が書き込まれています．)
A04 b04	800.0000 FM 900.0000 FM		

3. V/Mを押すとデュアルレシーブは中止します（VFOモードに戻ります）．

■ 設定した2つの周波数をデュアルレシーブメモリーに書き込む

デュアルレシーブメモリーに書き込まれている周波数を，書き替えることができます．

1. 前記ページの『希望する2つの周波数を交互に受信する』ときと同じ要領で周波数を設定し，デュアルレシーブを開始させます．
2. FUNCを押しながらV/Mを2秒以上押します．
3. FUNCを押しながらDIALツマミをまわして，書き込みたいデュアルレシーブメモリー番号を選択します．
4 FUNCを押しながらV/Mを2秒以上押します．
   選択したデュアルレシーブメモリーに書き込まれます．

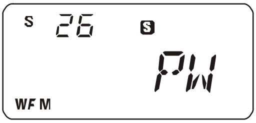
プライオリティワッチ

VFOモードで受信しているときに，希望する特定の周波数（プライオリティメモリー）を5秒間に一度優先的に受信することができます.

1. **VFOモードにします**（V/M を押して切り替えます）.

2. FUNC を押しながら SCAN を押します（セットモードになります）.

3. DIALツマミをまわし，セットモード[26.DW/PW]を選択します.



4. FUNC を押しながらDIALツマミをまわし，“**PW**”を選択します.

5. FUNC を押しながら SCAN を押します（VFOモードに戻ります）.

6. **VFOモードまたはメモリーモードで，優先的に受信したい周波数を設定します.**

7. FUNC を押しながら V/M を**2秒以上押します.**

“PWM W”と表示されて周波数がプライオリティメモリーに書き込まれます.

8. **メモリーモードのときはVFOモードにします.**

V/M を押すとVFOモードになります.

● メモリーモードからこの機能を動作させることはできません.

9. **常時受信したい周波数を設定します.**

◎ 以上で2つの周波数が設定されましたので，以下の操作でプライオリティワッチを開始します.

10. V/M を**2秒以上押します.**

“P”と“DW”が表示され，プライオリティワッチが動作します.

○ VFOモードで設定した周波数を受信しながら，5秒間に一度プライオリティメモリーの周波数を受信します.

○ プライオリティメモリーの周波数で信号を受信すると，優先的にその受信し，信号がなくなるとプライオリティワッチを再開します.

プライオリティワッチ動作時に点灯

11. V/M を押すとプライオリティワッチは中止します（VFOモードに戻ります）.

プライオリティワッチ

本機をより便利にお使いいただくために，いろいろな機能を備えています.

周波数ステップを変更する（ステップ変更）

◎ DIALツマミをまわしたときの周波数変化量（周波数ステップ）を変えることができます.

1. **VFOモードにします**（V/M を押して切り替えます）.

2. **FUNC を押しながら SCAN を押します**（セットモードになります）.

3. **DIALツマミをまわし，セットモード[00.STEP]を選択します.**

4. **FUNC を押しながらDIALツマミをまわし，希望の周波数ステップを選択します.**

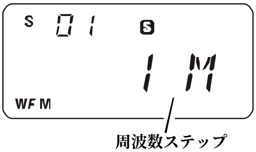
○ 周波数ステップは，次の中から選ぶことができます.
AUTO（自動切替）/ 5 / 6.25 / 9 / 10 / 12.5 / 15 / 20 / 25 / 30 / 50 / 100 kHz

○ 工場出荷時は，自動的に受信周波数に適したステップに切り替わる“ AUTO ”に設定されています（オートステップ機能）.
オートステップ時の「受信周波数と周波数ステップの関係」は，オートステップ・オートモード関係表をご覧ください（☞ p.52）.

◎ FUNC を押しながらDIALツマミをまわしたとき (ファーストステップ機能) の周波数変化量 (周波数ステップ) を変えることができます.

5. **DIALツマミをまわし，セットモード[01.F STEP]を選択すると，ファーストステップ機能の周波数変化量を変えることができます.**

6. **FUNC を押しながらDIALツマミをまわし，希望の周波数ステップを選択します.**



○ 周波数ステップは，次の中から選ぶことができます.
10 k / 100 k / 1 M / 10 M / 100 MHz

7. **FUNC を押しながら SCAN を押します**（VFOモードに戻ります）.

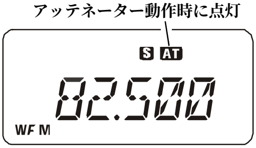
受信感度を下げる（アッテネーター機能）

受信信号が強すぎる場合や，近くに強力な信号があり，目的の信号が聞きにくい場合，アッテネーター（ATT）を動作させると聞きやすくなることがあります.

FUNC を押しながら 👁 を2秒以上押します.

アッテネーター（ATT）を解除するには，再度 FUNC を押しながら 👁 を2秒以上押します.

○ アッテネーター（ATT）の減衰量は約20dBです.

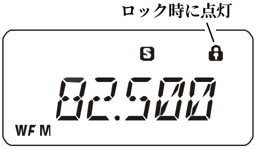


周波数などが変わらないようにする（ロック機能）

誤ってキーやDIALツマミに触れても，周波数などが変わらないようにすることができます.

FUNC を押しながら MONI を押します.

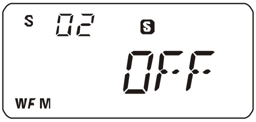
ロック機能を解除するには，再度 FUNC を押しながら MONI を押します.



照明ランプが自動的に点灯しないようにする（ランプ機能）

キーやDIALツマミを操作すると自動的にディスプレイとキーの照明ランプが5秒間だけ点灯しますが，この機能を“OFF”にすることができます．

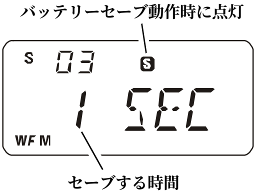
1. VFOモードにします（V/Mを押して切り替えます）．
2. FUNCを押しながらSCANを押します（セットモードになります）．
3. DIALツマミをまわし，セットモード[02.LAMP]を選択します．
4. FUNCを押しながらDIALツマミをまわし，“OFF”を選択します．
   - ○ “AUTO”を選択すると，キー操作やDIAL操作で自動的に照明ランプが点灯するようになります．
   - ○ “ON”を選択すると，電源がONになっている間照明ランプを点灯し続けます．
5. FUNCを押しながらSCANを押します（VFOモードに戻ります）．



乾電池を長く持たせる（バッテリーセーブ機能）

信号を受信していないときの消費電流を少なくする（セーブする）ことができます．

1. VFOモードにします（V/Mを押して切り替えます）．
2. FUNCを押しながらSCANを押します（セットモードになります）．
3. DIALツマミをまわし，セットモード[03.SAVE]を選択します．
4. FUNCを押しながらDIALツマミをまわし，希望の値に設定します (下表参照).



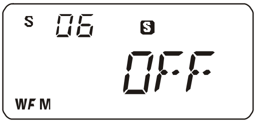
選択項目	受信時間	セーブ時間	選択項目	受信時間	セーブ時間
1sec (1:4)	0.25秒	1秒	7sec (1:28)	0.25秒	7秒
3sec (1:12)	0.25秒	3秒	9sec (1:36)	0.25秒	9秒
5sec (1:20)	0.25秒	5秒	OFF	連続的に受信します．	

   - ○ “OFF”を選択すると，バッテリーセーブ機能が解除されます．
   - ○ セーブ時間が長いほど，電池を長く持たせることができます．
   - ● トーンスケルチまたは空線スケルチが動作していると，バッテリーセーブ機能は動作しません．
5. FUNCを押しながらSCANを押します（VFOモードに戻ります）．

操作音が鳴らないようにする（ビープ音のON/OFF）

キー操作音や，メモリー書き込み時などに鳴る操作確認音などのビープ音を，鳴らないようにすることができます．

1. VFOモードにします（V/Mを押して切り替えます）．
2. FUNCを押しながらSCANを押します（セットモードになります）．
3. DIALツマミをまわし，セットモード[06.BEEP]を選択します．
4. FUNCを押しながらDIALツマミをまわし，“OFF”を選択します．
   - ○ “ON”を選択すると，ビープ音が鳴るようになります．
5. FUNCを押しながらSCANを押します（VFOモードに戻ります）．



Sメーターの振れをブザー音にする（SメーターブザーのON/OFF）

Sメーターの振れの強弱をブザー音の長短音および高低音（弱い信号ほどブザー音は短く低い音で，また強い信号ほどブザー音は長くて高い音で）として，4段階の音であらわすことができます．

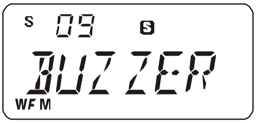
1. **VFOモードにします**（V/Mを押して切り替えます）．

2. **FUNCを押しながらSCANを押します**（セットモードになります）．

● セットモード[06. BEEP]が“ON”になっているか確認してください．

3. **DIALツマミをまわし，セットモード[09.SM BUZ]を選択します．**

4. **FUNCを押しながらDIALツマミをまわし，“BUZZER”を選択します．**



● 空線スケルチが動作していると，Sメーターブザーの機能は動作しません．

5. **FUNCを押しながらSCANを押します**（VFOモードに戻ります）．

自動的に電源をOFFにするまたはアラームで知らせる（タイマー機能）

設定した時間が経過すると，「自動的に電源を“OFF”にする (オフタイマー)」か，「アラームで知らせる (アラームタイマー)」をすることができます．

1. **VFOモードにします**（V/Mを押して切り替えます）．

2. **FUNCを押しながらSCANを押します**（セットモードになります）．

3. **DIALツマミをまわし，セットモード[04.TIMER]を選択します．**

4. **FUNCを押しながらDIALツマミをまわし，希望の時間に設定します．**

→ OFF → 30MOFF → 60MOFF → 90MOFF →
60MALM ← 45MALM ← 30MALM ← 15MALM ←

○ 「電源を“OFF”にする」ときの設定時間は，次の中から選ぶことができます．
30MOFF (分) / 60MOFF (分) / 90MOFF (分)

○ 「ブザーで知らせる」ときの設定時間は，次の中から選ぶことができます．
15MALM (分) / 30MALM (分) / 45MALM (分) / 60MALM (分)

○ “OFF”を選択すると，オフタイマー機能は解除されます．

5. **FUNCを押しながらSCANを押します**（VFOモードに戻ります）．

○ “オフタイマー” に設定したときは，受信信号や操作の有無にかかわらず，設定した時間が経過すると，自動的に電源が“OFF”になります．

○ “アラームタイマー” に設定したときは，受信信号や操作の有無にかかわらず，設定した時間が経過すると，アラームを鳴らします．なお，キー操作をするとアラーム音が停止します．

○ オフタイマー機能が動作中でも，PWRを2秒以上押せば電源を“OFF”にすることができます．このときオフタイマー機能は自動的に解除されます．

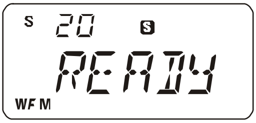
スロットマシンゲームで遊ぶ

1. **VFO**モードにします（V/M を押して切り替えます）.

2. FUNC を押しながら SCAN を押します（セットモードになります）.

3. **DIAL**ツマミをまわし，セットモード[**20.GAME**]を選択します.

4. FUNC を押しながら**DIAL**ツマミを**1**クリックまわします（“READY”が表示されます）.



5. BND▲ を押すと，ゲームがスタートします.

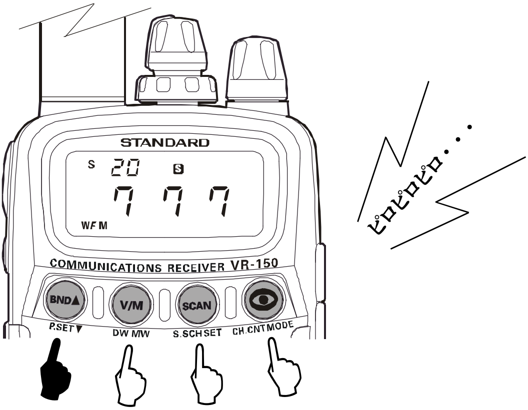
6. V/M , SCAN , 👁 を押して3つの数字を合わせます.

○数字が合うと,「ピロピロピロ・・・」とブザーが鳴ります．いずれかのキーを押すと, ブザーの音は止まります.

○再スタートは BND▲ を押します.

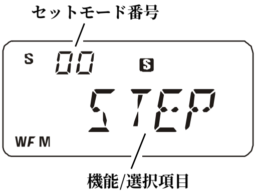
7. ゲームを終了したいときは，**DIAL**ツマミを**1**クリックまわします（セットモードに戻ります）.

8. FUNC を押しながら SCAN を押します（VFOモードに戻ります）.



必要に応じて使う機能

セットモードでは，キーを操作したときの音の有無など，各種の設定を行うことができます.



1. (V/M)を押してVFOモードにします.
2. (FUNC)を押しながら(SCAN)を押します.
   セットモードになります.
3. DIALツマミをまわして，設定したいセットモード番号を選択します.
   ○ (FUNC)を押すと，現在の選択項目を確認することができます.
4. (FUNC)を押しながらDIALツマミをまわし，設定する項目を選択します.
5. (FUNC)を押しながら(SCAN)を押して，セットモードを終了します.

番号	表示	動作説明	初期値
00	STEP	周波数ステップの設定	AUTO
01	F STEP	ファーストステップの切り替え	1 MHz
02	LAMP	照明ランプの設定	AUTO
03	SAVE	バッテリーセーブ時間の切り替え	1 sec (1:4)
04	TIMER	オフタイマー/アラームタイマーの機能設定	OFF
05	PAUSE	スキャンストップ時間の設定	5 sec
06	BEEP	ビープ音の ON/OFF	ON
07	VOLT	現在の電圧表示	-
08	SM SEN	Sメーター感度の選択	NORMAL
09	SM BUZ	Sメーターブザーの ON/OFF	OFF
10	GROUP	プリセットメモリー (P12) の内容選択	GROUP0
11	SEARCH	周波数サーチの動作切り替え	VFO
12	SCHMEM	サーチバンドメモリーの周波数確認	-
13	FLEX S	ステップ周波数の補正	ON
14	AM ANT	AMアンテナの選択	EXT
15	FM ANT	FMアンテナの選択	EXT
16	T SQL	トーンスケルチの動作選択	OFF
17	TONE	トーン周波数の選択	88.5 Hz
18	TRAIN	鉄道無線空線スケルチのON/OFF	OFF
19	TR FRQ	鉄道無線チャンネルの選択	TR-1
20	GAME	ゲームモードの選択	-
21	MEMORY	メモリーモードの切り替え	VFO
22	SCAN	メモリースキャンの動作選択	ALL
23	B LINK	メモリーバンクスキャンのバンク指定	-
24	BANKCL	メモリーバンク内のメモリーチャンネルを一括消去	-
25	SKIPCL	スキップメモリーの一括消去	-
26	DW/PW	デュアルレシーブ/プライオリティワッチの選択	DW
27	S SCH	スマートサーチの動作選択	SINGLE
28	CH CNT	チャンネルカウンタサーチ幅の選択	±25 MHz
29	O T M	ワンタッチメモリー機能の動作選択	OFF

セットモードの動作一覧表(1)

00. STEP：周波数ステップの設定 ［初期値 ： AUTO］

選択項目	AUTO	自動的に受信周波数に適したステップに切り替わります.
	5/6.25/9/10/12.5/15/20/25/30/50/100 kHz	設定したステップ幅で周波数を変更します.

01. F STEP：ファーストステップの切り替え ［初期値 ： 1 MHz］

選択項目	10 k/100 k/1 M/10 M/100 MHz	周波数を合わせるときに, FUNC を押しながらDIALツマミをまわしたときの変化量を選択します.

02. LAMP：照明ランプの設定 ［初期値 ： AUTO］

選択項目	AUTO	キー操作や DIAL 操作を押すと自動的に照明ランプが 5 秒間点灯します.
	ON	電源が ON になっている間, 照明ランプを点灯し続けます
	OFF	キーを押しても照明ランプを点灯しません.

03. SAVE：バッテリーセーブ時間の切り替え ［初期値 ： 1 sec (1:4)］

選択項目	1 sec (1:4)	250 ms 受信して, 1 秒間受信セーブを行います.
	3 sec (1:12)	250 ms 受信して, 3 秒間受信セーブを行います.
	5 sec (1:20)	250 ms 受信して, 5 秒間受信セーブを行います.
	7 sec (1:28)	250 ms 受信して, 7 秒間受信セーブを行います.
	9 sec (1:36)	250 ms 受信して, 9 秒間受信セーブを行います.
	OFF	受信セーブ動作は行いません （連続受信）.

04. TIMER：オフタイマー / アラームタイマーの機能設定 ［初期値 ： OFF］

選択項目	OFF	オフタイマー / アラームタイマーの機能は動作しません.
	30/60/90 min	設定した時間が経過すると, 自動的に電源が OFF になります.
	15/30/45/60 min	設定した時間が経過すると, アラームが鳴ります.

05. PAUSE：スキャンストップ時間の設定 ［初期値 ： 5 sec］

選択項目	1 sec ~ 12 sec	サーチ / スキャン / デュアルレシーブ中に信号が入感すると, 設定した時間だけ一時停止します （1 秒単位で設定できます）.

06. BEEP：ビープ音の ON/OFF ［初期値 ： ON］

選択項目	ON	キーを押したときに, ビープ音が鳴ります.
	OFF	ビープ音が鳴らなくなります.

07. VOLT：現在の電圧表示 ［表示範囲 ： 1.9 V ~ 3.9 V］

選択項目	-	FUNC を押しながらDIALツマミを1クリックまわすとバッテリーの電圧がディスプレイに表示されます．DIALツマミを1クリックまわすとセットモードに戻ります．

08. SM SEN：S メーター感度の選択 ［初期値 ： NORMAL］

選択項目	NORMAL	Sメーター感度を通常の状態にします．
	LOW	Sメーター感度を落とします（FMのときのみ有効）．

09. SM BUZ：S メーターブザーの ON/OFF ［初期値 ： OFF］

選択項目	OFF	S メーターブザーを使用しません．
	BUZZER	S メーターの振れをブザー音にします．

10. GROUP：プリセットメモリー (P 12) の内容選択 ［初期値 ： GROUP0］

選択項目	GROUP0	メモリーチャンネル 800 ~ 849 が呼び出されるようになります．
	GROUP1	メモリーチャンネル 850 ~ 899 が呼び出されるようになります．
	GROUP2	メモリーチャンネル 900 ~ 949 が呼び出されるようになります．
	GROUP3	メモリーチャンネル 950 ~ 999 が呼び出されるようになります．
	GRPEX0	メモリーチャンネル 800 ~ 824 が呼び出されるようになります．
	GRPEX1	メモリーチャンネル 825 ~ 849 が呼び出されるようになります．
	GRPEX2	メモリーチャンネル 850 ~ 874 が呼び出されるようになります．
	GRPEX3	メモリーチャンネル 875 ~ 899 が呼び出されるようになります．
	GRPEX4	メモリーチャンネル 900 ~ 924 が呼び出されるようになります．
	GRPEX5	メモリーチャンネル 925 ~ 949 が呼び出されるようになります．
	GRPEX6	メモリーチャンネル 950 ~ 974 が呼び出されるようになります．
	GRPEX7	メモリーチャンネル 975 ~ 999 が呼び出されるようになります．

11. SEARCH：周波数サーチの動作切り替え ［初期値 ： VFO］

選択項目	VFO	現在設定してある VFO 周波数からサーチを開始します．
	LIMIT	“ サーチバンドメモリー ” にメモリーされている周波数範囲をサーチします．

12. SCHMEM：サーチバンドメモリーの周波数確認

選択項目	-	FUNC を押しながら DIAL ツマミをまわすと, サーチバンドメモリーにメモリーされている周波数範囲を確認することができます．続けて他のセットモードの設定を行うときは, FUNC を押しながら SCAN を押してください．

13. FLEX S：ステップ周波数の補正 ［初期値 ： ON］

選択項目	ON	ステップを変更したとき，モード（電波型式）に適した周波数に補正します.
	OFF	6.25kHz および 12.5kHz 以外のステップでは， 補正が解除されます.

14. AM ANT ：AM アンテナの選択 ［初期値 ： EXT］

選択項目	EXT	外部アンテナを使用します.
	BAR	AM 放送のバンドを受信すると， 自動的に内蔵のバーアンテナに切り替わります. 人の多い場所や付属のアンテナが邪魔になるときに切り替えると大変便利です. 本機を一番よく受信できる方向に向けてください.

15. FM ANT ：FM アンテナの選択 ［初期値 ： EXT］

選択項目	EXT	外部アンテナを使用します.
	EARPHO	イヤホンのコードをアンテナとして使用できます. 人の多い場所や付属のアンテナが邪魔になるときに切り替えると大変便利です. イヤホンのコードはできるだけ伸ばした状態で受信してください. ● 弱い信号を受信したときに，ノイズが入ることがあります.

16. T SQL ：トーンスケルチの動作選択 ［初期値 ： OFF］

選択項目	OFF	トーンスケルチを使用しません.
	ON	トーンスケルチを使用します.
	BELL	トーンスケルチを使用し , トーン周波数 が一致するとベルを鳴らして知らせます.

17. TONE ：トーン周波数の選択 ［初期値 ： 88.5 Hz］

選択項目	67.0 Hz ～ 254.1 Hz	50 波のトーン周波数 (下記参照) から選択することができます.

選択できるトーン周波数 (Hz)

67.0	79.7	94.8	110.9	131.8	156.7	171.3	186.2	203.5	229.1
69.3	82.5	97.4	114.8	136.5	159.8	173.8	189.9	206.5	233.6
71.9	85.4	100.0	118.8	141.3	162.2	177.3	192.8	210.7	241.8
74.4	88.5	103.5	123.0	146.2	165.5	179.9	196.6	218.1	250.3
77.0	91.5	107.2	127.3	151.4	167.9	183.5	199.5	225.7	254.1

18. TRAIN ：鉄道無線空線スケルチの ON/OFF ［初期値 ： OFF］

選択項目	OFF	空線スケルチを使用しません.
	ON	空線スケルチを使用します.

19. TR FRQ：鉄道無線チャンネルの選択 ［初期値 ： TR-1］

選択項目	TR-1 ～ TR-8T	16チャンネルの鉄道チャンネルから選択することができます.

表示	周波数 (MHz)	表示	周波数 (MHz)	表示	周波数 (MHz)	表示	周波数 (MHz)
TR-1	352.5375	TR-3	352.5625	TR-5	352.5875	TR-7	352.6125
TR-1 T	336.0375	TR-3 T	336.0625	TR-5 T	336.0875	TR-7 T	336.1125
TR-2	352.5500	TR-4	352.5750	TR-6	352.6000	TR-8	352.6250
TR-2 T	336.0500	TR-4 T	336.0750	TR-6 T	336.1000	TR-8 T	336.1250

20. GAME：ゲームモードの選択

選択項目	-	スロットマシンゲームができます.

1. (FUNC)を押しながらDIALツマミを1クリックまわすと，ディスプレイに“READY”が表示されます.
2. (BND▲)を押すとゲームがスタートします.
3. (V/M)，(SCAN)，(◉)を押して数字を止めます（再スタートは(BND▲)を押します）.
4. ゲームを終了したいときは，DIALツマミを1クリックまわすとセットモードに戻ります.

21. MEMORY：メモリーモードの切り替え ［初期値 ： VFO］

選択項目	VFO	VFOメモリーを選択します.
	SKIP	スキップメモリーを選択します.

22. SCAN：メモリースキャンの動作選択 ［初期値 ： ALL］

選択項目	ALL	全てのメモリーチャンネルをスキャンします.
	BANK	指定した“メモリーバンク”内のメモリーチャンネルだけをスキャンします.

23. B LINK：メモリーバンクスキャンのバンク指定

選択項目	-	メモリーバンクスキャンを行うバンクを指定します.

1. (FUNC)を押しながらDIALツマミをまわして，バンク指定したいメモリーバンクを選択します.
2. DIALツマミをまわしてメモリーバンクスキャンを行いたいメモリーバンクに「.」を付けます.
   ○さらに1クリックまわすと「.」は消え，バンク指定は解除されます.
3. 他のバンクを指定する場合は，手順1）から手順2）を繰り返します.
4. 続けて他のセットモードの設定を行うときは，(FUNC)を押しながら(SCAN)を押してください.

24. BANKCL：メモリーバンク内のメモリーチャンネルを一括消去

選択項目	-	指定したメモリーバンク内にある全てのメモリーチャンネルを，一度に消去することができます．

1. FUNC を押しながらDIALツマミをまわして消去したいメモリーバンクを選択します．
ディスプレイに“CLEAR”が表示されます．
○ V/M を押すと設定を中止します．
2. FUNC を押しながら V/M を押します．
ディスプレイに“WAIT”が表示され，メモリーバンク内のメモリーチャンネルが全て消去されます．
○ 他のバンクを一括消去する場合は，手順*1*）から手順*2*）を繰り返します．
● 消去したメモリーバンク内のメモリーチャンネルは復活できません．
3. 続けて他のセットモードの設定を行うときは，FUNC を押しながら SCAN を押してください．

25. SKIPCL：スキップメモリーの一括消去

選択項目	-	全てのスキップメモリーを，一度に消去することができます．

1. FUNC を押しながらDIALツマミを1クリックまわすと，ディスプレイに“CLEAR”が表示されます．
○ V/M を押すと設定を中止し，手順*1*）に戻ります．
2. FUNC を押しながら V/M を押します．全てのスキップメモリーが全て消去されます．
● 消去したスキップメモリーは復活できません．

26. DW/PW：デュアルレシーブ / プライオリティワッチの選択 ［初期値：DW］

選択項目	DW	デュアルレシーブを選択します．
	PW	プライオリティワッチを選択します．

27. S SCH：スマートサーチの動作選択 ［初期値：SINGLE］

選択項目	SINGLE	1回だけサーチします．
	CONT	スマートメモリーが一杯になるまでサーチを繰り返します．

28. CH CNT：チャンネルカウンタサーチ幅の選択 ［初期値：±25 MHz］

選択項目	±5 / ±10 / ±25 / ±50 /±100 MHz	チャンネルカウンタのサーチ範囲を選択します．

29. O T M：ワンタッチメモリー機能の動作選択 ［初期値 ： OFF］

選択項目	OFF	ワンタッチメモリーは使用しません.
	ON	BND▲ (0-A ： メモリーチャンネル 096) → DIAL (0-b ： メモリーチャンネル 196) V/M (1-A ： メモリーチャンネル 097) → DIAL (1-b ： メモリーチャンネル 197) SCAN (2-A ： メモリーチャンネル 098) → DIAL (2-b ： メモリーチャンネル 198) (3-A ： メモリーチャンネル 099) → DIAL (3-b ： メモリーチャンネル 199) DIAL ツマミをまわすことにより， メイン (A) とサブ (b) を切り替えることができます. ○ OTM機能を使用しているときは，セットモードへの移行とATT機能のON/OFFをすることができます. ● OTMを“ ON ”にする前に，希望の周波数をメモリーチャンネルの096，097，098，099，196，197，198，199へメモリーしてください. ● メイン用のメモリーチャンネル096，097，098，099にメモリーしていないときは，サブ用のメモリーチャンネル196，197，198，199にメモリーしてあっても，表示されません.

セットモードの機能別一覧表

サーチ・スキャンに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
スキャンストップ時間の設定	05	PAUSE	1 sec～12 sec［5 sec］
周波数サーチの動作切り替え	11	SEARCH	VFO /LIMIT
メモリースキャンの動作選択	22	SCAN	ALL / BANK
メモリーバンクスキャンのバンク指定	23	B LINK	—
チャンネルカウンターサーチ幅の選択	28	CH CNT	±5 M / ±10 M / ±25 M / ±50 M / ±100 MHz

メモリーに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
プリセットメモリー(P 12)の内容選択	10	GROUP	GROUP0 / GROUP1 / GROUP2 / GROUP3 / GRPEX0 / GRPEX1 / GRPEX2 / GRPEX3 / GRPEX4 / GRPEX5 / GRPEX6 / GRPEX7
サーチバンドメモリーの周波数確認	12	SCHMEM	—
メモリーモードの切り替え	21	MEMORY	VFO / SKIP
メモリーバンク内のメモリーチャンネルを一括消去	24	BANKCL	—
スキップメモリーの一括消去	25	SKIPCL	—
ワンタッチメモリー機能の動作選択	29	O T M	OFF / ON

スマートサーチに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
スマートサーチの動作選択	27	S SCH	SINGLE / CONT

デュアルレシーブに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
デュアルレシーブ/プライオリティの選択	26	DW/PW	DW / PW

鉄道無線に関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
鉄道無線空線スケルチのON/OFF	18	TRAIN	OFF / ON
鉄道無線チャンネルの選択	19	TR FRQ	TR 1 ～ TR-8T

トーンスケルチに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
トーンスケルチの動作選択	16	T SQL	OFF / ON / BELL
トーン周波数の選択	17	TONE	67.0 Hz ～ 254.1 Hz［88.5 Hz］

Sメーターに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
Sメーター感度の選択	08	SM SEN	NORMAL / LOW
Sメーターブザーの ON/OFF	09	SM BUZ	OFF / BUZZER

タイマーに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
オフタイマー/アラームタイマーの時間設定	04	TIMER	OFF / 30MOFF / 60MOFF / 90MOFF / 15MALM / 30MALM / 45MALM / 60MALM
バッテリーセーブ時間の切り替え	03	SAVE	1 sec / 3 sec / 5 sec / 7sec / 9 sec / OFF

ビープ音に関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
ビープ音のON/OFF	06	BEEP	ON / OFF

照明に関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
照明ランプの設定	02	LAMP	AUTO / ON / OFF

アンテナに関する設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
AMアンテナの選択	14	AM ANT	EXT / BAR
FMアンテナの選択	15	FM ANT	EXT / EARPHO

その他の設定項目	No.	ディスプレイ表示	選択項目
周波数ステップの設定	00	STEP	AUTO / 5 / 6.25 / 9 / 10 / 12.5 / 15 / 20 / 25 / 30 / 50 / 100 kHz
ファーストステップの切り替え	01	F STEP	10 k / 100 k / 1 M / 10 M / 100 MHz
現在の電圧表示	07	VOLT	—
ステップ周波数の補正	13	FLEX S	ON / OFF
ゲームモードの選択	20	GAME	—

※ 設定項目にある下線または［ ］内の設定値は，工場出荷時の値です．

メモリー内容や各種設定内容を，他のVR-150にコピーすることができます.

1. **2台のVR-150の電源を“OFF”にし，オプションのクローンケーブル（CT-35）をSP端子に接続します.**

2. **2台のVR-150を，FUNC，BND▲を押しながら電源を“ON”にします.**

“RX　TX”が表示されます.

3. **初めに受け側のセットのSCANを押します.**

“R”が表示されます.

4. **次に送り側のセットの（◉）を押します.**

“T”が表示されます.

データーのコピーを開始します.

コピーが終了すると，受け側と送り側のディスプレイに“PASS”と表示されます.

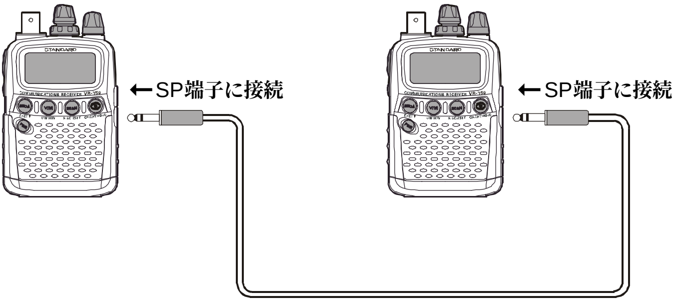
いずれかのキーを押すと，オープニングメッセージ “VR-150 HELLO”が表示され，通常の状態に戻ります.

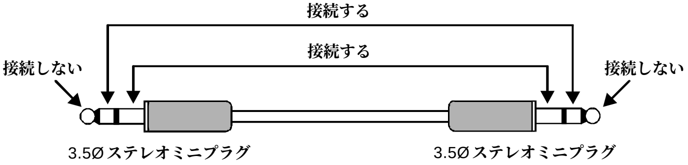
○ データーを転送中にV/Mを押すとクローンを中止することができます.

○ データーを転送中，ディスプレイに“ERROR” や “WAR”などの警告が表示された場合は，クローンケーブルの接続などを確認して，はじめから操作をやり直してください.

5. **2台のVR-150の電源を“OFF”にし，クローンケーブルを外します.**

送り側　　受け側





クローンケーブル配線図

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に，次の事項を確認してください．

● 電源が入らない

・乾電池が消耗していませんか？
・乾電池の極性を間違えずに正しくセットしてありますか？
・外部電源のコードは，正しく接続されていますか？

● 周波数が変わらない

・ロック機能が動作していませんか？
・ワンタッチメモリー（OTM機能）に切り替わっていませんか？

● 音が出ない

・電源はONになっていますか？
・VOLツマミを反時計方向にまわし切っていませんか？
・SQLツマミを時計方向にまわし切っていませんか？
・トーンスケルチの機能になっていませんか？
・電波型式はあっていますか？
・空線スケルチの機能になっていませんか？

● ザーとノイズ音が出る

・SQLツマミを反時計方向にまわし切っていませんか？
・MONI を押していませんか？

● メモリーに書き込めない

・メモリーチャンネルが空いていますか？
・プリセットモードになっていませんか？

● スキャンやスマートサーチができない

・SQLツマミを反時計方向にまわし切っていませんか？
・バンクスキャンを設定してあるとき，セットモードでバンクの指定はしましたか？

● 感度がわるい

・アッテネーター機能が“ON”になっていませんか？

アフターサービスについて

◎ 保証期間はお買い上げの日より1年間です．

本製品には保証書が添付されています．お買い上げいただいた日から1年以内に，取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には，無料で修理をお引き受けします．

◎ 保証書は大切に保管してください．

保証書を紛失しますと，保証期間中に発生した故障でも，保証期間が過ぎたものとして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください．

また，販売年月日・販売店名等の必要事項が記入してない保証書も無効扱いにさせていただきますので，お買い上げいただきました販売店名・お買い上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ，大切に保管してください．

◎ 保証期間が過ぎた後に故障した場合は，ご相談ください．

修理により機能が維持できる場合には有償で修理させていただきますので，お買い上げいただきました販売店またはお近くの営業所/サービスにご相談ください．

◎ 梱包箱も大切に保管してください．

修理や点検のために本製品を運搬する場合には，運搬中の事故やトラブルを防止するため，梱包箱を使用して運搬してください．

製品の改良のため，取扱説明書の図面が一部製品と異なる場合があります．あらかじめご了承ください．

本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは，お近くの営業所/サービス宛にお願いいたします．また，その際には，必ずセットの製造番号（本体背面に貼ってある銘板に記載してあります）を併せてお知らせください．なお，お手紙をいただくときには，お客様のご住所・ご氏名を忘れずにお書きください．

受信周波数範囲	：100 kHz〜1299.995 MHz（一部の周波数帯を除く）
電波型式	：AM / FM / WFM
受信方式	：トリプルスーパーヘテロダイン
メモリーチャンネル数	：1000チャンネル
メモリーバンク数	：10バンク（1バンク：100チャンネル）
アンテナインピーダンス	：50 Ω
アンテナ端子	：BNC
中間周波数	：248.45 MHz，15 MHz，450 kHz

受信感度 (TYP値)

200 kHz〜5 MHz	AM	3.5 dBμ (1.5 μV)
5 MHz〜160 MHz	AM	–4.4 dBμ (0.6 μV)
	FM	–10.4 dBμ (0.3 μV)
	WFM	–1.0 dBμ (0.9 μV)
160 MHz〜370 MHz	AM	–4.4 dBμ (0.6 μV)
	FM	–10.4 dBμ (0.3 μV)
	WFM	–4.4 dBμ (0.6 μV)
370 MHz〜520 MHz	FM	–10.4 dBμ (0.3 μV)
	WFM	0 dBμ (1.0 μV)
520 MHz〜1300 MHz	FM	–3.0 dBμ (0.7 μV)
	WFM	9.5 dBμ (3.0 μV)

選択度	：WFM: 200 kHz 以上 / –6 dB AM / FM: 16 kHz 以上 / –6 dB
アンテナ不要輻射	：–54 dBm以下
電源電圧	：定格 3.0 V
動作可能電源電圧	：DC 2.2 V〜3.5 V
消費電流	：受信時　約95 mA（オーディオ出力50 mW，8 Ω） 待ち受け時　約15 mA（1:4バッテリーセーブオン） 待ち受け時　約55 mA（バッテリーセーブオフ）
使用可能時間（目安）	：約20時間（1/2定格出力時，アルカリ乾電池）
動作温度範囲	：–10 ℃ 〜 +50 ℃
低周波出力	：約80 mW（8 Ω）
外形寸法	：85 mm(H)×59 mm(W)×26 mm(D)（突起物を含まず）
本体重量	：約195 g（乾電池，アンテナを含む）

定格値は常温・常圧時の値です．
本機の外観および定格は，改良のため予告なく変更することがあります．ご了承ください．

下記の周波数は受信することができません．

253MHz ~ 256MHz	412MHz ~ 416MHz	898MHz ~ 901MHz
262MHz ~ 267MHz	810MHz ~ 835MHz	915MHz ~ 961MHz
271MHz ~ 276MHz	843MHz ~ 846MHz	
380MHz ~ 383MHz	860MHz ~ 890MHz	

200kHz以下，1.2288MHz (マイコンクロック4.9152MHzの1/4) の整数倍，14.55MHz (PLL基準発振) の整数倍の周波数については，内部ビート等により受信できない場合があります．

メモリーされている世界放送局の周波数一覧表(1)

『世界の放送を受信する』の項目で放送局を呼び出したときの一覧表です.

(V/M)を押してメモリーモードにし，DIALツマミをまわすと各放送局を呼び出すことができます.

○ メモリーを他の周波数に上書きした場合は，オールリセット操作をすると下表の状態に戻ります.

バンク 7：短波ラジオ局

ﾒﾓﾘｰ ﾁｬﾝﾈﾙ	周波数 (MHz)	ﾓｰﾄﾞ	表示	放送局名	国	ﾒﾓﾘｰ ﾁｬﾝﾈﾙ	周波数 (MHz)	ﾓｰﾄﾞ	表示	放送局名	国
700	6.030	AM	VOA	Voice of America	ｱﾒﾘｶ	729	5.985	AM	BELGIU	Radio Vlaanderen International	ﾍﾞﾙｷﾞｰ
701	6.160	AM	VOA	Voice of America	ｱﾒﾘｶ	730	9.925	AM	BELGIU	Radio Vlaanderen International	ﾍﾞﾙｷﾞｰ
702	9.760	AM	VOA	Voice of America	ｱﾒﾘｶ	731	11.780	AM	BELGIU	Radio Vlaanderen International	ﾍﾞﾙｷﾞｰ
703	11.930	AM	VOA	Voice of America	ｱﾒﾘｶ	732	13.740	AM	BELGIU	Radio Vlaanderen International	ﾍﾞﾙｷﾞｰ
704	5.995	AM	CANADA	Radio Canada International	ｶﾅﾀﾞ	733	5.955	AM	NEDERL	Radio Nederland	ｵﾗﾝﾀﾞ
705	7.235	AM	CANADA	Radio Canada International	ｶﾅﾀﾞ	734	6.020	AM	NEDERL	Radio Nederland	ｵﾗﾝﾀﾞ
706	9.735	AM	CANADA	Radio Canada International	ｶﾅﾀﾞ	735	9.895	AM	NEDERL	Radio Nederland	ｵﾗﾝﾀﾞ
707	11.705	AM	CANADA	Radio Canada International	ｶﾅﾀﾞ	736	11.655	AM	NEDERL	Radio Nederland	ｵﾗﾝﾀﾞ
708	6.195	AM	BBC	British Broadcasting Corporation	ｲｷﾞﾘｽ	737	9.590	AM	DENMAR	Radio Denmark	ﾃﾞﾝﾏｰｸ
709	9.410	AM	BBC	British Broadcasting Corporation	ｲｷﾞﾘｽ	738	9.985	AM	DENMAR	Radio Denmark	ﾃﾞﾝﾏｰｸ
710	12.095	AM	BBC	British Broadcasting Corporation	ｲｷﾞﾘｽ	739	13.800	AM	DENMAR	Radio Denmark	ﾃﾞﾝﾏｰｸ
711	15.310	AM	BBC	British Broadcasting Corporation	ｲｷﾞﾘｽ	740	15.735	AM	DENMAR	Radio Denmark	ﾃﾞﾝﾏｰｸ
712	6.045	AM	FRANCE	Radio France International	ﾌﾗﾝｽ	741	9.780	AM	PORTUG	Radio Portugal	ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ
713	9.790	AM	FRANCE	Radio France International	ﾌﾗﾝｽ	742	11.960	AM	PORTUG	Radio Portugal	ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ
714	11.670	AM	FRANCE	Radio France International	ﾌﾗﾝｽ	743	15.555	AM	PORTUG	Radio Portugal	ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ
715	15.525	AM	FRANCE	Radio France International	ﾌﾗﾝｽ	744	21.655	AM	PORTUG	Radio Portugal	ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ
716	3.955	AM	WELLE	Deutsche Welle	ﾄﾞｲﾂ	745	7.270	AM	SPAIN	Radio Exterior de Espana	ｽﾍﾟｲﾝ
717	6.075	AM	WELLE	Deutsche Welle	ﾄﾞｲﾂ	746	9.520	AM	SPAIN	Radio Exterior de Espana	ｽﾍﾟｲﾝ
718	9.545	AM	WELLE	Deutsche Welle	ﾄﾞｲﾂ	747	11.920	AM	SPAIN	Radio Exterior de Espana	ｽﾍﾟｲﾝ
719	9.735	AM	WELLE	Deutsche Welle	ﾄﾞｲﾂ	748	15.585	AM	SPAIN	Radio Exterior de Espana	ｽﾍﾟｲﾝ
720	6.060	AM	ITALY	Italian Radio International	ｲﾀﾘｱ	749	6.090	AM	LUXEMB	Radio Luxembourg	ﾙｸｾﾝﾌﾞﾙｸﾞ
721	7.175	AM	ITALY	Italian Radio International	ｲﾀﾘｱ	750	7.485	AM	NORWAY	Radio Norway International	ﾉﾙｳｪｰ
722	9.515	AM	ITALY	Italian Radio International	ｲﾀﾘｱ	751	9.590	AM	NORWAY	Radio Norway International	ﾉﾙｳｪｰ
723	17.710	AM	ITALY	Italian Radio International	ｲﾀﾘｱ	752	9.985	AM	NORWAY	Radio Norway International	ﾉﾙｳｪｰ
724	-	-	-	-	-	753	13.800	AM	NORWAY	Radio Norway International	ﾉﾙｳｪｰ
725	3.985	AM	SWISS	Swiss Radio International	ｽｲｽ	754	6.065	AM	SWEDEN	Radio Sweden	ｽｳｪｰﾃﾞﾝ
726	6.165	AM	SWISS	Swiss Radio International	ｽｲｽ	755	9.490	AM	SWEDEN	Radio Sweden	ｽｳｪｰﾃﾞﾝ
727	9.885	AM	SWISS	Swiss Radio International	ｽｲｽ	756	13.625	AM	SWEDEN	Radio Sweden	ｽｳｪｰﾃﾞﾝ
728	15.220	AM	SWISS	Swiss Radio International	ｽｲｽ	757	17.505	AM	SWEDEN	Radio Sweden	ｽｳｪｰﾃﾞﾝ

メモリーされている世界放送局の周波数一覧表(2)

- 受信する時間帯や電波の状態が悪いときは，受信できない場合があります．
- 各放送局は下表以外にも受信できる周波数があります．詳しくは市販されている周波数帳などを参考にしてください．

バンク 7：短波ラジオ局

ﾒﾓﾘｰﾁｬﾝﾈﾙ	周波数 (MHz)	ﾓｰﾄﾞ	表示	放送局名	国	ﾒﾓﾘｰﾁｬﾝﾈﾙ	周波数 (MHz)	ﾓｰﾄﾞ	表示	放送局名	国
758	6.120	AM	FINLAN	Radio Finland	ﾌｨﾝﾗﾝﾄﾞ	779	5.975	AM	KOREA	Radio Korea	韓国
759	9.630	AM	FINLAN	Radio Finland	ﾌｨﾝﾗﾝﾄﾞ	780	7.275	AM	KOREA	Radio Korea	韓国
760	11.755	AM	FINLAN	Radio Finland	ﾌｨﾝﾗﾝﾄﾞ	781	9.570	AM	KOREA	Radio Korea	韓国
761	9.795	AM	FINLAN	Radio Finland	ﾌｨﾝﾗﾝﾄﾞ	782	13.670	AM	KOREA	Radio Korea	韓国
762	5.940	AM	RUSSIA	Voice of Russia	ﾛｼｱ	783	6.155	AM	JAPAN	Radio Japan	日本
763	5.920	AM	RUSSIA	Voice of Russia	ﾛｼｱ	784	7.200	AM	JAPAN	Radio Japan	日本
764	7.205	AM	RUSSIA	Voice of Russia	ﾛｼｱ	785	9.750	AM	JAPAN	Radio Japan	日本
765	12.030	AM	RUSSIA	Voice of Russia	ﾛｼｱ	786	11.850	AM	JAPAN	Radio Japan	日本
766	9.435	AM	ISRAEL	Israel Broadcasting Authority	ｲｽﾗｴﾙ	787	5.995	AM	AUSTRA	Radio Australia	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ
767	11.585	AM	ISRAEL	Israel Broadcasting Authority	ｲｽﾗｴﾙ	788	9.580	AM	AUSTRA	Radio Australia	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ
768	15.615	AM	ISRAEL	Israel Broadcasting Authority	ｲｽﾗｴﾙ	789	9.660	AM	AUSTRA	Radio Australia	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ
769	17.545	AM	ISRAEL	Israel Broadcasting Authority	ｲｽﾗｴﾙ	790	12.080	AM	AUSTRA	Radio Australia	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ
770	6.045	AM	INDIA	All India Radio (AIR)	ｲﾝﾄﾞ	791	-	-	-	-	-
771	9.595	AM	INDIA	All India Radio (AIR)	ｲﾝﾄﾞ	792	-	-	-	-	-
772	11.620	AM	INDIA	All India Radio (AIR)	ｲﾝﾄﾞ	793	-	-	-	-	-
773	15.020	AM	INDIA	All India Radio (AIR)	ｲﾝﾄﾞ	794	-	-	-	-	-
774	-	-	-	-	-	795	-	-	-	-	-
775	7.190	AM	CHINA	China Radio International (CRI)	中国	796	-	-	-	-	-
776	5.250	AM	CHINA	China Radio International (CRI)	中国	797	-	-	-	-	-
777	9.855	AM	CHINA	China Radio International (CRI)	中国	798	-	-	-	-	-
778	11.685	AM	CHINA	China Radio International (CRI)	中国	799	-	-	-	-	-

プリセットメモリー周波数一覧表(1)

プリセットメモリーP12を呼び出したときの放送局一覧表です.

下表を参考にセットモード10により，各地方の放送局グループを選択します.
(BND▲)を2秒以上押してプリセットモードにします. (BND▲)を数回押してプリセットメモリーP12に選択し, DIALツマミをまわすと各放送局を呼び出すことができます.

○ メモリーを他の周波数に上書きした場合は，オールリセット操作をすると下表の状態に戻ります.

バンク 8：北海道, 東北, 関東, 信越, 北陸地方　中波ラジオ局，FMラジオ局，テレビ放送局

メモリーチャンネル	周波数	モード	表示	放送局名	地方	メモリーチャンネル	周波数	モード	表示	放送局名	地方
800	0.567	AM	NHK-1	NHK第1札幌	北海道	850	0.594	AM	NHK-1	NHK第1東京	関東
801	0.747	AM	NHK-2	NHK第2札幌	北海道	851	0.693	AM	NHK-2	NHK第2東京	関東
802	1.287	AM	HBC	北海道放送	北海道	852	0.765	AM	YBS	山梨放送	関東
803	1.440	AM	STV	STVラジオ	北海道	853	0.810	AM	AFN	AFN東京	関東
804	80.400	WFM	AIR-G	FM北海道	北海道	854	0.954	AM	TBS	TBS	関東
805	82.500	WFM	NR-WAV	FMノースウェーブ	北海道	855	1.134	AM	BUNKA	文化放送	関東
806	85.200	WFM	NHK-SP	NHK-FM札幌	北海道	856	1.197	AM	IBS	茨城放送	関東
807	95.750	WFM	TV-1CH	北海道放送	北海道	857	1.242	AM	NIPPON	ニッポン放送	関東
808	107.750	WFM	TV-3CH	NHK総合	北海道	858	1.422	AM	RF-NPN	RFラジオ日本	関東
809	181.750	WFM	TV-5CH	STV	北海道	859	1.530	AM	CRT	栃木放送	関東
810	221.750	WFM	TV12CH	NHK教育	北海道	860	76.100	WFM	INT-FM	Inter FM	関東
811	499.750	WFM	TV17CH	テレビ北海道	北海道	861	76.400	WFM	R-BERY	FM栃木	関東
812	559.750	WFM	TV27CH	北海道文化放送	北海道	862	77.100	WFM	FM-UNV	放送大学	関東
813	607.750	WFM	TV35CH	北海道テレビ放送	北海道	863	78.000	WFM	BAY-FM	BAY FM	関東
814	1.233	AM	RAB	青森放送	東北	864	78.600	WFM	FM-FUJ	FM富士	関東
815	80.000	WFM	AFB	FM青森	東北	865	79.500	WFM	NACK-5	NACK 5	関東
816	0.684	AM	IBC	岩手放送	東北	866	80.000	WFM	TYO-FM	TOKYO FM	関東
817	76.100	WFM	FMI	FM岩手	東北	867	80.700	WFM	NHK-CB	NHK-FM千葉	関東
818	0.936	AM	ABS	秋田放送	東北	868	81.300	WFM	J-WAVE	J-WAVE	関東
819	82.800	WFM	AFM	FM秋田	東北	869	81.900	WFM	NHK-YK	NHK-FM横浜	関東
820	0.918	AM	YBC	山形放送	東北	870	82.500	WFM	NHK-TY	NHK-FM東京	関東
821	80.400	WFM	BOY-FM	FM山形	東北	871	84.700	WFM	FM-YKH	FMヨコハマ	関東
822	1.458	AM	RFC	ラジオ福島	東北	872	85.100	WFM	NHK-UW	NHK-FM浦和	関東
823	81.800	WFM	FMF	ふくしまFM	東北	873	86.300	WFM	FM-GNM	FMぐんま	関東
824	-	-	-	-	-	874	-	-	-	-	-
825	0.891	AM	NHK-1	NHK第1仙台	東北	875	95.750	WFM	TV-1CH	NHK総合	関東
826	1.089	AM	NHK-2	NHK第2仙台	東北	876	107.750	WFM	TV-3CH	NHK教育	関東
827	1.260	AM	TBC	東北放送	東北	877	175.750	WFM	TV-4CH	日本テレビ	関東
828	77.100	WFM	DAT-FM	FM仙台	東北	878	187.750	WFM	TV-6CH	TBS	関東
829	82.500	WFM	NHK-SD	NHK-FM仙台	東北	879	197.750	WFM	TV-8CH	フジテレビ	関東
830	95.750	WFM	TV-1CH	東北放送	東北	880	209.750	WFM	TV10CH	テレビ朝日	関東
831	107.750	WFM	TV-3CH	NHK総合	東北	881	221.750	WFM	TV12CH	テレビ東京	関東
832	181.750	WFM	TV-5CH	NHK教育	東北	882	481.750	WFM	TV14CH	MX-TV	関東
833	221.750	WFM	TV12CH	仙台放送	東北	883	493.750	WFM	TV16CH	放送大学	関東
834	589.750	WFM	TV32CH	東日本放送	東北	884	625.750	WFM	TV38CH	テレビ埼玉	関東
835	601.750	WFM	TV34CH	宮城テレビ放送	東北	885	649.750	WFM	TV42CH	TVK	関東
836	1.116	AM	BSN	新潟放送	信越	886	673.750	WFM	TV46CH	千葉テレビ	関東
837	77.500	WFM	FM-NIG	FM新潟	信越	887	685.750	WFM	TV48CH	群馬テレビ	関東
838	1.098	AM	SBC	信越放送	信越	888	-	-	-	-	-
839	79.700	WFM	FM-NGN	FM長野	信越	889	-	-	-	-	-
840	0.738	AM	KNB	北日本放送	北陸	890	-	-	-	-	-
841	82.700	WFM	FM-TYM	FMとやま	北陸	891	-	-	-	-	-
842	1.107	AM	MRO	北陸放送	北陸	892	-	-	-	-	-
843	80.500	WFM	FM-ISK	FM石川	北陸	893	-	-	-	-	-
844	0.864	AM	FBC	福井放送	北陸	894	-	-	-	-	-
845	76.100	WFM	FM-FKI	FM福井	北陸	895	-	-	-	-	-
846	-	-	-	-	-	896	-	-	-	-	-
847	-	-	-	-	-	897	-	-	-	-	-
848	-	-	-	-	-	898	-	-	-	-	-
849	-	-	-	-	-	899	-	-	-	-	-

GROUP0　GRPEX0　GRPEX1　GROUP1　GRPEX2　GRPEX3

資料

プリセットメモリー周波数一覧表(2)

バンク 9 ：東海, 近畿, 中国, 四国, 九州, 沖縄地方　中波ラジオ局，FMラジオ局，テレビ放送局

メモリーチャンネル	周波数	モード	表示	放送局名	地方	メモリーチャンネル	周波数	モード	表示	放送局名	地方
900	0.729	AM	NHK-1	NHK第1名古屋	東海	950	0.558	AM	AM-KOB	ラジオ関西	近畿
901	0.909	AM	NHK-2	NHK第2名古屋	東海	951	0.666	AM	NHK-1	NHK第1大阪	近畿
902	1.053	AM	CBC	CBC	東海	952	0.828	AM	NHK-2	NHK第2大阪	近畿
903	1.332	AM	TOKAI	東海ラジオ放送	東海	953	1.008	AM	ABC	朝日放送	近畿
904	1.431	AM	GIFU	岐阜ラジオ	東海	954	1.143	AM	KBS	京都放送	近畿
905	77.800	WFM	ZIP-FM	FM名古屋	東海	955	1.179	AM	MBS	毎日放送	近畿
906	78.900	WFM	FM-MIE	FM三重	東海	956	1.314	AM	OBC	大阪放送	近畿
907	80.000	WFM	RAD-80	岐阜FM	東海	957	80.200	WFM	FM-802	FM802	近畿
908	80.700	WFM	FMA	FM愛知	東海	958	82.800	WFM	NHK-KT	NHK-FM京都	近畿
909	82.500	WFM	NHK-NY	NHK-FM名古屋	東海	959	85.100	WFM	FM-OSK	FM大阪	近畿
910	95.750	WFM	TV-1CH	東海テレビ	東海	960	86.500	WFM	NHK-KB	NHK-FM神戸	近畿
911	107.750	WFM	TV-3CH	NHK総合	東海	961	88.100	WFM	NHK-OS	NHK-FM大阪	近畿
912	181.750	WFM	TV-5CH	中部日本放送	東海	962	89.400	WFM	A-STN	エフエム京都	近畿
913	203.750	WFM	TV-9CH	NHK教育	東海	963	89.900	WFM	KIS-FM	兵庫FMラジオ放送	近畿
914	215.750	WFM	TV11CH	名古屋テレビ	東海	964	101.750	WFM	TV-2CH	NHK総合	近畿
915	547.750	WFM	TV25CH	テレビ愛知	東海	965	175.750	WFM	TV-4CH	毎日放送	近畿
916	607.750	WFM	TV35CH	中京テレビ	東海	966	187.750	WFM	TV-6CH	朝日放送	近畿
917	1.404	AM	SBS	静岡放送	東海	967	197.750	WFM	TV-8CH	関西テレビ	近畿
918	79.200	WFM	K-MIX	静岡FM放送	東海	968	209.750	WFM	TV10CH	読売テレビ	近畿
919	-	-	-	-	-	969	221.750	WFM	TV12CH	NHK教育	近畿
920	-	-	-	-	-	970	511.750	WFM	TV19CH	テレビ大阪	近畿
921	-	-	-	-	-	971	77.000	WFM	ERADIO	FM滋賀	近畿
922	0.738	AM	RBC	琉球放送	沖縄	972	1.431	AM	WBS	和歌山放送	近畿
923	0.864	AM	ROK	ラジオ沖縄	沖縄	973	1.494	AM	RSK	山陽放送	中国
924	87.300	WFM	FM-OKN	FM沖縄	沖縄	974	76.800	WFM	FM-OKY	FM岡山	中国
925	0.612	AM	NHK-1	NHK第1福岡	九州	975	0.702	AM	NHK-2	NHK第2広島	中国
926	1.017	AM	NHK-2	NHK第2福岡	九州	976	1.071	AM	NHK-1	NHK第1広島	中国
927	1.278	AM	RKB	RKB毎日放送	九州	977	1.350	AM	RCC	中国放送	中国
928	1.413	AM	KBC	九州朝日放送	九州	978	78.200	WFM	HFM	広島FM放送	中国
929	78.700	WFM	CRS-FM	FM九州	九州	979	88.300	WFM	NHK-HR	NHK-FM広島	中国
930	80.700	WFM	FM-FOK	FM福岡	九州	980	107.750	WFM	TV-3CH	NHK総合	中国
931	84.800	WFM	NHK-FK	NHK-FM福岡	九州	981	175.750	WFM	TV-4CH	中国放送	中国
932	95.750	WFM	TV-1CH	九州朝日放送	九州	982	193.750	WFM	TV-7CH	NHK教育	中国
933	107.750	WFM	TV-3CH	NHK総合	九州	983	221.750	WFM	TV12CH	広島テレビ	中国
934	175.750	WFM	TV-4CH	RKB毎日放送	九州	984	583.750	WFM	TV31CH	テレビ新広島	中国
935	187.750	WFM	TV-6CH	NHK教育	九州	985	607.750	WFM	TV35CH	広島ホームテレビ	中国
936	203.750	WFM	TV-9CH	テレビ西日本	九州	986	1.431	AM	BSS	山陰放送(鳥取)	中国
937	511.750	WFM	TV19CH	TXN九州	九州	987	78.800	WFM	V-AIR	FM山陰(鳥取)	中国
938	619.750	WFM	TV37CH	福岡放送	九州	988	0.900	AM	BSS	山陰放送(島根)	中国
939	77.900	WFM	FMS	FM佐賀	九州	989	77.400	WFM	V-AIR	FM山陰(島根)	中国
940	1.233	AM	NBC	長崎放送	九州	990	1.458	AM	KRY	山口放送	中国
941	79.500	WFM	SMILE	FM長崎	九州	991	79.200	WFM	FMY	FM山口	中国
942	1.098	AM	OBS	大分放送	九州	992	1.449	AM	RNC	西日本放送	四国
943	88.000	WFM	FM-OIT	FM大分	九州	993	78.600	WFM	FM-KGW	FM香川	四国
944	0.936	AM	MRT	宮崎放送	九州	994	1.116	AM	RNB	南海放送	四国
945	83.200	WFM	JOY FM	FM宮崎	九州	995	79.700	WFM	FM-EHM	FM愛媛	四国
946	1.197	AM	RKK	熊本放送	九州	996	1.269	AM	JRT	四国放送	四国
947	77.400	WFM	FMK	FM中九州	九州	997	80.700	WFM	FM-TKS	FM徳島	四国
948	1.107	AM	MBC	南日本放送	九州	998	0.900	AM	RKC	高知放送	四国
949	79.800	WFM	MYUFM	FM鹿児島	九州	999	81.600	WFM	FM-KCH	FM高知	四国

GROUP2　GRPEX4　GRPEX5　GROUP3　GRPEX6　GRPEX7

資料

オートステップ・オートモード関係表

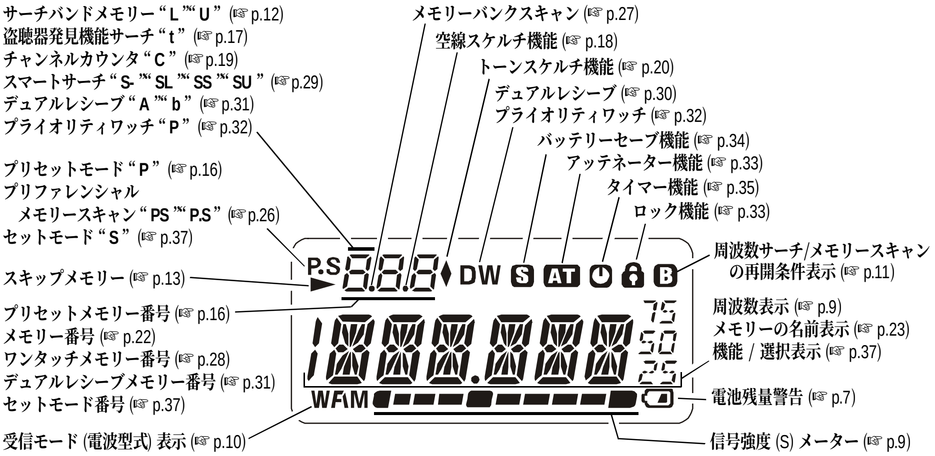
オートステップとオートモード時の，周波数と周波数ステップ・モード（電波型式）の関係は，下表のようになります.

周波数範囲(MHz)	モード	ステップ(kHz)	周波数範囲(MHz)	モード	ステップ(kHz)
0.1000 ~ 0.2850	FM	5	162.9000 ~ 170.0000	FM	10
0.2850 ~ 0.5200	AM	5	170.0000 ~ 225.0000	WFM	50
0.5200 ~ 1.6200	AM	9	225.0000 ~ 250.4000	AM	100
1.6200 ~ 29.0000	AM	5	250.4000 ~ 253.0000	FM	12.5
29.0000 ~ 35.5300	FM	10	256.0000 ~ 262.0000	AM	100
35.5300 ~ 51.0000	AM	5	267.0000 ~ 270.0000	FM	12.5
51.0000 ~ 54.0000	FM	20	270.0000 ~ 271.0000	AM	100
54.0000 ~ 76.0000	FM	5	276.0000 ~ 281.0000	AM	100
76.0000 ~ 90.0000	WFM	100	281.0000 ~ 283.0000	FM	12.5
90.0000 ~ 108.0000	WFM	50	283.0000 ~ 336.0000	AM	100
108.0000 ~ 136.0000	AM	25	336.0000 ~ 430.0000	FM	12.5
136.0000 ~ 138.0000	FM	10	430.0000 ~ 440.0000	FM	20
138.0000 ~ 142.0000	AM	25	440.0000 ~ 459.5000	FM	12.5
142.0000 ~ 148.0000	FM	20	459.5000 ~ 464.8000	WFM	25
148.0000 ~ 156.0000	FM	10	464.8000 ~ 470.0000	FM	12.5
156.0000 ~ 157.4500	FM	25	470.0000 ~ 770.0000	WFM	50
157.4500 ~ 160.6000	FM	10	770.0000 ~ 915.0000	FM	12.5
160.6000 ~ 160.9750	FM	25	961.0000 ~ 1260.0000	WFM	100
160.9750 ~ 161.5000	FM	10	1260.0000 ~ 1300.0000	FM	20
161.5000 ~ 162.9000	FM	25	-	-	-

キー操作早見表 / ディスプレイからの索引

キー	単独で押す	FUNC を押しながら押す
MONI	押している間だけスケルチをOFF	ロック機能のON/OFF
BND▲	バンド切り替え (上方向) プリセットchの上方向切り替え ワンタッチメモリー0 (OTM時)	バンドの切り替え (下方向) プリセットchの下方向切り替え
V/M	VFO，メモリーモードの切り替え CLR (クリア) キーとして動作 ワンタッチメモリー1 (OTM時)	メモリーの書き込み (VFOモード) スキップメモリーの書き込み (VFOモード) メモリーの消去 (メモリーモード) スキップメモリーの消去 (メモリーモード)
SCAN	サーチ，スキャンの実行 ワンタッチメモリー2 (OTM時)	セットモード (VFOモード) メモリーに名称を付ける (メモリーモード)
	盗聴器発見機能サーチの実行 (VFOモード) メモリー名称・周波数の切り替え (メモリーモード) ワンタッチメモリー3 (OTM時)	モードの切り替え

キー	単独で2秒以上押す	FUNC を押しながら2秒以上押す
MONI	-----	-----
BND▲	通常モード，プリセットモードの切り替え	プリセットメモリーの書き込み
V/M	デュアルレシーブ・プライオリティワッチの実行	デュアルレシーブ・プライオリティワッチ周波数の設定
SCAN	スマートサーチの実行 (VFOモード) PMSメモリーの書き込み (メモリーモード) PMSメモリーの実行 (スキャン中) トーンサーチの実行 (トーン周波数選択時)	サーチ上下限周波数の書き込み スマートサーチ上下限周波数の書き込み
	チャンネルカウンタの実行	アッテネーターのON/OFF



資料

索引

A
ALLRST（オールリセット） 14
AMアンテナの選択 14
ATT機能（アッテネーター機能） 33

B
BND▲ (バンド) キー 9
BARアンテナの切り替え 14

C
CH.CNT（チャンネルカウンタ） 19

D
DIALツマミ 9
DIALツマミのステップ幅を変える 33
DW（デュアルレシーブ） 30

E
EXT DC端子 9

F
FMアンテナの選択 14
FUNCスイッチ 9

L
LOCK機能 33

M
MODE 10
MONIスイッチ 10
MW 22

O
OFFタイマー 35
OTM機能 28

P
PMS（プリファレンシャルメモリースキャン） 26
P.SET（プリセットモード） 16
PW（プライオリティワッチ） 32
PWRスイッチ 9

S
SCAN（スキャン） 25
SEARCH 12
SET（セットモード） 37
SP端子 (スピーカー端子) 9
SQLツマミ 9
S.SCH（スマートサーチ） 29
STEP（ステップ） 33
SYSRST（システムリセット） 14
Sメーター感度の選択 39
Sメーターの振れをブザー音にする 35

V
VFOモード 9
V/Mキー 9
VOLツマミ 9

あ
アッテネーター機能（ATT） 33
アフターサービスについて 46
アラームタイマー 35
安全上のご注意 3
アンテナを取り付ける 6

い
イヤホンアンテナの切り替え 14

お
オートステップ 10
オートモード 10
オートモード･オートステップ関係表 52
オープニングメッセージ 23
オールリセット 14
オフタイマー 35
オプション 5

か
外部電源を接続する 7
各地方の主要放送局を受信する 16
各部の名前と働き 9
乾電池を入れる 7
乾電池を長く持たせる 34
簡単操作の受信機として使う 16

き
キー操作早見表 53
希望のメモリーチャンネルだけをスキャンする 26

く
空線信号の音を消す（空線スケルチ機能） 18
クローン機能 45

け
ゲーム 36

こ
故障かな？と思ったら 46

さ
サーチ 11
サーチしたくない周波数をスキップする 13
サーチしたくない周波数を設定する 13
サーチの再開する条件 11
サーチバンドメモリー 12
サーチバンドメモリーの周波数確認 39

し
充電のしかた 8
システムリセット 14
指定したメモリーバンク内にある
　メモリーチャンネルだけをスキャンする 27
自動的に電源をOFFにする（オフタイマー） 35
周波数サーチ 11
周波数サーチの動作切り替え 39
周波数を調べる 19
周波数ステップを変更する 33

資料

周波数などが変わらないようにする 33
周波数をあわせる 10
周波数範囲を指定してサーチする 12
受信感度を下げる 33
受信できる全ての周波数をサーチする 11
受信バンドをあわせる 10
受信するモード（電波型式）をあわせる 10
受信前の準備 6
照明ランプが自動的に点灯しないようにする 34
照明ランプの設定 38
使用時間の目安 7
信号を受信していないときのノイズを消す 9
信号を受信する 10

す

スキップメモリー 13
スキップメモリーの一括消去 42
スキップメモリーを消す 13
スキャンストップ時間の設定 38
スキャンの再開する条件 11
ステップ（STEP） 38
ステップ周波数の補正 40
ステップ変更 33
スピーカー端子（SP端子） 9
全てのメモリーチャンネルをスキャンする 25
スマートサーチ（S SCH） 29
スマートサーチの動作選択 42
スロットマシンゲームで遊ぶ 36

せ

世界の放送を受信する 15
セットモード（SET） 37
セットモードの機能別一覧表 44
セットモードの項目一覧表 37
セットモードの動作一覧表 38

そ

操作音が鳴らないようにする 34

た

タイムサーチ 11
タイムスキャン 11

ち

チャンネルカウンタ（CH CNT） 19
チャンネルカウンタサーチ幅の選択 42

て

定格 47
ディスプレイからの索引 53
ディスプレイの説明 9
鉄道無線を受信する 18
デュアルレシーブ（DW） 30
電圧表示 39

と

盗聴器発見機能サーチ 17
トーンサーチ 21
トーンスケルチ 20

は

バーアンテナの切り替え 14
バッテリーセーブ機能 34
ハンドストラップを取り付ける 6
バンド（BND▲） 10

ひ

ビジーサーチ 11
ビジースキャン 11
ビープ音のON/OFF 34

ふ

ファーストステップ機能 10
付属品 5
2つの周波数を交互に受信する 30
プライオリティワッチ（PW） 32
プリセットメモリー（P 12）の内容選択 39
プリセットメモリー周波数一覧表 50
プリセットモード（P.SET） 16
プリファレンシャルメモリースキャン（PMS） 26

へ

ベルトクリップを取り付ける 6

ほ

ホールドサーチ 11
ホールドスキャン 11

め

メモリーされている世界放送局の周波数一覧表 . 48
メモリースキャン 25
メモリースキャンの動作選択 41
メモリー操作 22
メモリーチャンネルに書き込む 22
メモリーチャンネルに名前をつける 23
メモリーチャンネルの内容を消す 24
メモリーチャンネルを呼び出す 23
メモリーの構成 22
メモリーの編集 23
メモリーバンク 22
メモリーバンクスキャン 27
メモリーバンクスキャンのバンク指定 41
メモリーバンク内の全メモリーチャンネルを消す .. 24
メモリーモード 22

も

モード（MODE） 10

り

リセットのしかた 14

ろ

ロック機能 33

わ

ワンタッチメモリー（OTM機能） 28

資料

STANDARD

製造元 ・株式会社バーテックス スタンダード
〒153-8644　東京都目黒区中目黒4-8-8

EH011M000

0201B-BY

©2001 株式会社バーテックス スタンダード
㊭無断転載・複写